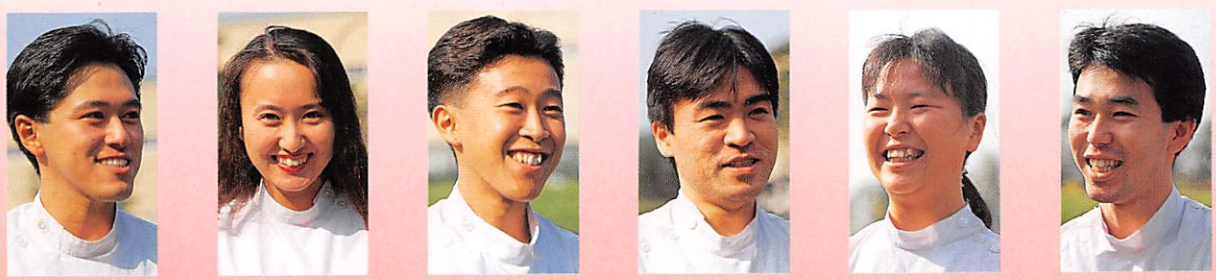
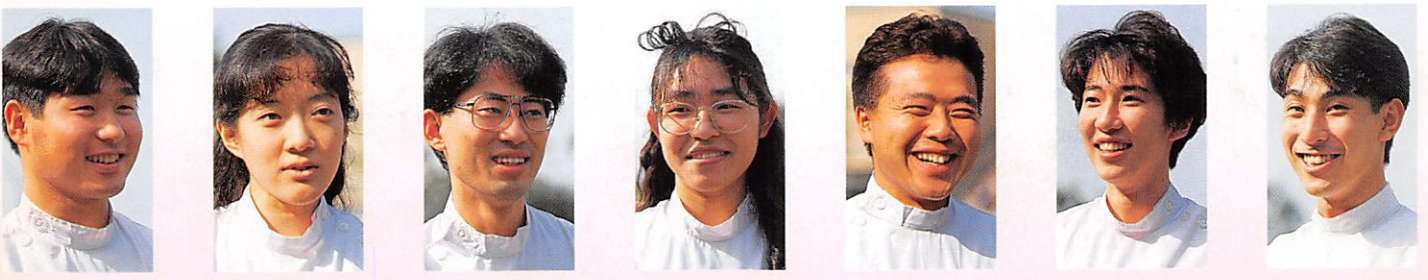
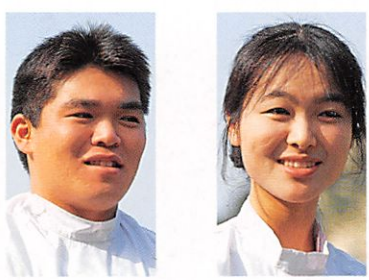
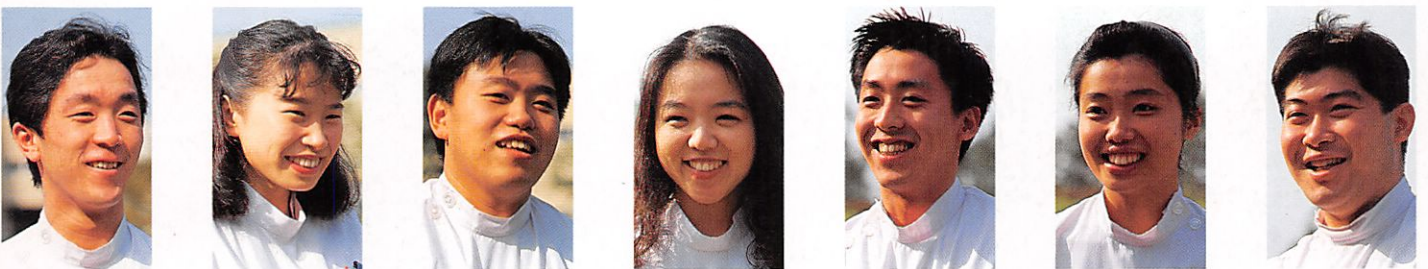


ZOOM UP

日本大学
松戸歯学部



1993. No.81



歯界展望

東京・新宿、厚生年金会館裏手に建つ東京医科大学。設立は大正7年4月であるがその源流は明治初頭に誕生した私立「済生学舎」。卒業生数も既に1万人を越えるという我が国を代表する名門医大の一つである。

「当校はちょっと変わった歴史を辿っておりますね。大正5年、それまであった日本医学専門学校で約400名が、学校当局と意見を異にし、総退学して作った、いわば学生が作ったとも云える大学なのです」。ゆったりとやさしい口調。丁寧な応対。

毎号各大学をご訪問しているが、頂点を極めた方の言葉使いや礼儀正しさには此方が恐縮してしまうほどだ。その人柄や性格が人望を集め、周りが押し上げるのか、極めたから更に磨かれたのか。おそらくその両方である



東京医科大学学長

伊藤久雄

うが、思わず引き込まれてしまうほどの魅力的な人物が多い。

——歯科医師は過剰と云われておりますが、医師の現状は？「医師もそうですね。入学定員も3年前から、それまでの120名から110名に。今後更に減らして行かねばなりません。かたが、全国的にみますと、分布が大都市・大病院に片寄っております。過疎・僻地はいまだに足りない状況を呈しております。又、近頃の土地、高度医療に対応する設備の高騰で、都心部では新規開業はほとんど不可能。この新宿地区の開業医の平均年齢は65才を過ぎております。やむなくビル内開業

となりますが、そうしますと夜間は閉まってしまう救急患者の対応が出来ません。当地区では大学病院が多いので恵まれておりますが、病院から遠隔地に住まわれている患者さんは深刻ですね。10年程前から続けているのですが、当校から北海道の根室市立病院に16名医師を派遣しているのですが、空港が出来、近くなった中標別からでも車で1時間半、それ以前は釧路から3時間かけて行っておりました。北海道にも医大があるのですが、手が回らないのでしょうか。歯科医師もそうでしょうが、人数だけで見た過剰と実態はかなり隔たりがあります。難しい問題ですが。——定員削減により私立医科大学の経営も深刻？

「当校の収入は、学生の納金、医療収入、補助金が柱となっておりますが、80%は医療収入に依存しております。しかし、保険料はほとんど上がっておりませんし、逆に厚生省では大学病院における医療費の削減を提示しております…。増々苦しくなるでしょうね。又、現在全国で医科大学が80校ほどありますが、厚生省では病院を機能別に分け、特殊機能病院として位置づけ、病床を600床以上、医師の数は何十人以上、ICUやCCU等の設備機器を揃え、患者さん1名に付、24時間・3交代で3名の看護婦を、という規定を提示しております。そうなれば看護婦だけでも不足、赤字となってしまいます。高度医療を施せば施すほど経営は赤字になる。パチンコや外食産業が20兆円を越えたと云われておりますが、それと国民総医療費が同額では…。これも難しい問題ですね。国民の健康を守る責任を義務づけられている職業だけに、何か矛盾を感じさせる。

お生まれは東京。東京および山形で育つ。ご専門は内科。——歩まれた道については？「卒業後当校で恩師である小宮悦造先生から血液学を、梅原千治先生から副腎皮質ステロイド療法を学びました。教授の回診時などに質問された患者さんの症状・状態を総て知らないでカルテ板が目の前に飛んで来ました。それだけご本人も勉強をしておりましたし、何より患者さんを大切にしておりました。その他ニューヨーク医科大学での恩師グラス教授から、医療にはdifficult(難問)ではあってもimpossible(不可能)はない、と医療人としての生きる姿勢を教わりました。素晴らしい方々と巡り合いましたし、今も学生達ともつ

き合え、気分的に若くいられる。医者になって良かった、と思いますね。——医師としての心構えは「近頃盛んにインフォームド・コンセントと云う言葉が使われておりますが、患者さんと医師は信頼関係が何より大切。とかく人間は自信がついてくると、態度が横柄、ぞんざいになったり、職業や身分によって態度をかえがちになりますが、常に初心に戻り自身を見直す心・場をもって欲しいですね。今後増々ふえるであろう医療過誤問題も、つまるところは人間関係。それを何より大切にしたいと思います。——その医療過誤については「良否は別にして、患者さん側が自身の権利を強く主張する時代に入ってきた。今、アメリカなどでは婦人科の開業は訴訟が多いため非常に少なくなって来たと聞きます。その時の為に支払う弁護士費用その他の準備保険金が1000万円もかかるようで…。日本の場合今後どのように変わっていくかわかりませんが、好ましくない状態だと云えます。——医科から歯科をご覧になって「昔は歯が丈夫だったんですが、50才を過ぎたら急に悪くなりましてね(笑)。今は当校の内田先生にお世話になっております。1日中立って大変な職業だと思いますが、今の保険制度下では人数を多く診ないとやっていけない仕組み。これでは先程のインフォームド・コンセントをじっくりやっている暇などありません。医科も歯科も医療に関しては同じ立場ですから、いっしょになって医療費の問題点を考え、解決へと持っていくべきだと思うのです。医科と歯科のダブルライセンスを持たれている方も多いのですから、そうした方々が橋渡しとなって、共に向上していく姿勢が必要だと思います」。学長の傍ら学生の講義、臨床の立会いと超多忙な日々を過ごされている。バイタリティー溢れる63才である。

●略歴

昭和4年8月 東京に生まれる
昭和26年3月 東京医科大学専門部卒業
昭和33年11月 東京医科大学内科助手
昭和36年6月 東京医科大学内科講師
昭和44年11月 東京医科大学内科助教授
昭和48年8月 New York Medical College留学
昭和55年11月 東京医科大学教授
昭和58年4月 東京医科大学第三内科主任教授
昭和60年9月 東京医科大学病院副院長
昭和63年9月 東京医科大学病院院長
昭和63年12月 東京医科大学理事
平成2年7月 東京医科大学常務理事
平成4年2月 東京医科大学学長

私と日本大学 松戸歯学部

歯学部長

泉 廣次



松戸駅からバスでおよそ20分。駅周辺はビルが林立し、一大繁華街へと大きく変貌してしまったが、大学付近は新興住宅が建ち並ぶものの、未だ静かな教育環境を呈す好条件下にある。

通された応接室には、創設者である故鈴木勝学長から始まり前歯学部長までの写真が。ご紹介の泉歯学部長は平成3年10月にご就任された6代目である。



堂々とした体軀、ご専門が口腔外科とくれば…、かなり厳しいご性格と想像するが、温和な口調とやさしい笑顔。さすがは重症の患者さんと長年接して来られた方だけに、特に笑った目元には、包容力の深さと安心感を感じさせる。

「当学部の創設は、当時の日本大学総長であった鈴木勝先生により、新しい時代に適応する新しい歯科教育の理念をもとにした歯学部設置という構想に基づき昭和46年に新設大学として設立されました。教育者は私もその一人ですが、駿河台の歯学部から当時助教授や教授になりたての人達が半分程赴任してきましたが、その教育の理念は「医学的歯学」を基本とした独自のカリキュラム構成でした。——そのカリキュラムの内容は？「人間形成を重視したクサビ型の6年一貫教育と、特に最終一年間に行う臨床実習では、一口腔一単位の思想を基にし、歯科医師として幅広い教養を身につけるとともに、歯科医学を正しく理解し、常に患者の立場に立って歯科医療を施し、社会の人々に貢献する温かい良き歯科医師を養成する事を心がけているのです。この一口腔一単位とは、与えられた患者を1人で最後まで計画内容に従って責任を持って診療し、この診療内容について各科でチェック、総合的に評価するというものです。ただこれも欠点がありまして、与えられた患



■プロフィール

- 昭和28年3月 日本大学歯学部卒業
- 昭和36年2月 医学博士学位授与
- 昭和37年4月 日本大学歯学部助教授
- 昭和43年6月 順天堂大学医学部兼任講師
- 昭和46年4月 日本大学松戸歯学部教授
- 昭和53年4月 日本大学松戸歯学部附属歯科病院長
- 昭和59年4月 日本大学松戸歯学部長
- 平成3年10月 日本大学松戸歯学部長

者によっては抜歯のケースが何もなかったり、アポイント制ですので学生が患者を呼ばないと患者から呼び出しが来ないという苦情が来たりします。今では各校とも色々和採り入れているようですが、当時はこうした教育制度がめずらしかったようで、文部省もテストケースとしてその実施を見守っていたようです。——では今度の教育内容の改正においては多少は楽(笑)？「まあ、各校とも新しいコースをそれぞれ模索されておられるでしょうが、そう云った意味では直し方も多少は楽でしょうね(笑)」。——新カリキュラム構想の内容は？「現在最終コースとして総合講座を設けています。これは一つのテーマを複数の教員がセクション別に講義するものであり、一例をあげると——腫瘍：を診断、病理、免疫、検査、薬理、放射線、全身管理、手術に8コマとし起因から、最終的に生命の根源まで一貫してまとめていく講義であります。この方法を8テーマ選び一テーマ1単位とし8単位研修させるといものです。それを今後は拡大し、基礎講義終了時、臨床講義終了時、病院臨床実習終了時の計3回実施すれば、学生の頭の中で総合的な結びつきがキチッと出来上がるのではないかと、思っております」。各校をお訪ねしているが、改革内容を細かくお話し下さる先生は初めて。大らかなお人柄が気持ちいい。

お生まれは北海道。が幼少時、東京・新宿で歯科医を開業される叔父の家に養子として入り歯科医の道へと歩む。「当時はゴム床の時代でしてね。毎日ゴムを切らされたり、ゴム溶解釜の圧力計の番をさせられたりで、歯科医の毎日をよくみておりましたよ。医者を目指したが失敗しちゃって(笑)……。昭和20年日大歯科専門部に入学し、22年歯学部子科に編入。谷津(三雄)先生、加藤(吉昭)先生達とは同級生ですが、編入のお陰でずい分損をした気分ですよ(笑)」。ユーモアを交えてザックバランなお話。魅力的な学部長である。口腔外科を選ばれた動機は？「卒業論文に歯周病を選んだんですが、当時は歯周を外科でやっていたことから、いつも出入りしてました。以来そのまま外科教室に残って勉強していましたが、当時の歯学部には研究室も



なくて、動物実験に使うネズミが病棟に逃げ込み大きわぎしたこともありますよ。昔医者になることを希望したことがあるからか、今でも研究より臨床が好きですね」。近年盛んに云々されているインプラント。ご専門では？「口腔外科のみでは出来ませんね。当校ではまず補綴、保存、外科、X線等がプロジェクトを組み希望患者に説明会を開き、可能かどうかをセレクトします。が、たとえ可能な人でも歯周管理を含め、総合的な解釈が出来ない人は施術しません。時間もかかり、非常にスローモーターですが、それ位にしていかなければインプラントは無理ですね。もともと大学側から広まっていったものではありませんが、失敗された患者さんは大学病院に来るんですよ。失敗例ばかりみているからか、インプラントに対する口腔外科医のイメージは悪く、あまりやりたがらないですね」と実状、実態を正直に。——生涯研修としての大学病院の在り方について「地域の中における大学病院の一つの大きな役目は、開業中の先生方が紹介ばかりでなく、患者と共に病院に来て施術方法を研修したり、知識を得る場として活用していただくことです。特に大学と離れた地方で開業されている方々には切実な問題だと思います。けれども残念なことに施設にその余裕がないのです。施設を含めた生涯研修制度の確立を、と私達も望んでいるのです」。——創設以来約22年、同窓会等のご活躍は？「現在全国の同窓会は29支部ありまして、そろそろ地域の中堅医師として活躍されているようです。が反面、まだ若いから余裕がなく自身のことで精一杯の為か、地域での盛り上がりは少ないようで残念です。生涯研修が必要な今、若い時にぜひ行動に移していただきたいと思っております」。「私達にはつい最近のことに思えますが、この大学が出来たのは今の4年生が生まれた時ですものね(笑)。月日の流れは早いものです」。開業を待ち望んだであろう養父の期待を裏切り、親不孝だったと思いますが、私もそろそろリタイアの年になりました(笑)。でも歩んだ道は良かったですね。人間味も豊かな泉歯学部長。64才である。

社団法人 宮崎県歯科医師会



会 長／松原 和夫
 副 会 長／山崎 頼任
 副 会 長／岩田 卓延
 専務理事／立川 俊介
 常務理事／嶽崎 幹彦
 常務理事／太田 忠和
 常務理事／稲田 義仁
 常務理事／丸目 洋一
 理 事／関 正夫
 理 事／荒武 萬公
 理 事／太田 恵悟
 理 事／斎藤 隆尋
 理 事／大坪 英幸
 理 事／安倍 喜郎
 理 事／鬼村晃太郎
 監 事／三輪 一馬
 監 事／白尾 国興

早朝からの定例議会とあって、前夜空港に到着。夜空に浮かび上がる空港の灯と周囲に植えられた高いヤシの木やフェニックスは南国情緒たっぷり、異国に着的な雰囲気だ。

宮崎県歯科医師会館は、市中を南北に走る国道10号線(通称橋通り)の繁華街を延岡方面に向って左に折れた静かな住・商地に建っている。前面には宮崎を象徴する太いフェニックスが植えられ、白い3階建ての建物を引きたてている。裏面にはパラデンタルスタッフ養成所として昭和43年に開校した宮崎歯科技術専門学校が併設され、文字通り県下の歯科医療全般を包含している。

会長：「当県は県民約110万人に対し、会員は465人(平成4年11月末迄)という、規模としてはあまり大きくありませんが、その分まとまりが良く、その点は助かっています。現在、会として目指している方向は、高齢化社会に向かっている日本歯科



松原和夫
会 長

医師会提唱の8020運動の推進、その前提として公衆衛生委員会を設置、今後は力を注いでいきたいと思っております。対外PRの内他県とはちょっと変わったものとしては、以前ありましたが中断していました「歯の女王コンテスト」の復活ですね。国際社会を反映し、外国人の出場も多く、今年は最終審査まで残りました。審査員側もテレビ局や銀行など各企業のトップの方々が、当会の対外PR委員と共に審査して下さい、歯に対するPRに一役買ってくれております。その他5年前に発足した警察協力会も、当県は全会員が協力医として登録、万に備えております。住民の要望も…、従って当会の活動も年々複雑、多岐になって参りましたが、お陰様で若い会員の方々も心よく理解・協力してくれまして…。その点は大いに自慢出来ますね。又、昨晚も県知事と話し合ったのですが、行政側も歯科会に対して理解がありますし、その点も有難いと思っております。

山崎：現在、県下は8つの市郡に分かれそれぞれ活動しておりますが、会長も若返ったと同じように、各市郡の会長さんも年々若くなりつつあります。その点が会員相互の意志疎通に役立っているのではないかと考えております。会長は現在55才、この年齢は老若どちら側の立場も理解できる年齢。時々、言いやすい雰囲気があり過ぎるのか、私共が困ってしまう位です(笑)。時代はどんどん変わって行

きますから、執行部の姿勢もオープンに、時代に即した、柔軟に対処出来る体制づくり、それが必要だと思いますね。



山崎頼任
副 会 長

Q：会長が当会のお目付役と云われる岩田副会長、昔と比べていかがですか？

岩田：昔は会の執行部の役員という近付き難い、という雰囲気がありました。今は全員が和気満々、交流も非常にうまくいっていると感じますね。又、事務局の皆さんも、昔からそうですが、日々起こる複雑な事柄を、私達に変わってテキパキと処理、まとめ役をしてくれております。執行部も非常に助かっています。全国的に見れば小さな県、会員数ですが、会長以下よくまとまっていると思いますね。

立川：私は先を見て走る会長と現在を中心に考える会員の間に立って…。嫌われ役を一手に引き受けている、と思っております(笑)。

当県歯会の特徴の一つとしましては、私が現在社長(一代目は松原会長)を兼務しております、(有)はとばむらさき、という別法人の収益会社を持っていることです。会員は家族を含めて、メディカル・カードという会員証を持っていて、このカードで冠婚葬祭はむろんのこと、各種の買物が割引きで出来るというものです。そこから上がる利益を会に還元し運営に役立てる。近年ようやく軌道に乗ってまいりましたので、今後共これを推進

して行きたいと思っております。

歯科医療界も過剰、保険等、色々問題を抱えておりますが、私は患者のニーズや歯科に対する認識度を考え対処して



岩田卓延

副会長

いけば、未だ未だ足りない部分が多くあり、決して悲観することはない、と思っ

ております。若い先生方が増えたことは次代を考えれば素晴らしいことだと思いますが、一方質的な問題も同時に起こってまいります。ニーズに対応出来る総合的なレベルアップを図ると共に歯科医師という職業の未来に希望をもって進むことが出来る、こうした指針づくりを執行部は責任をもって今後も推進していきたい。そう思っております。

会長：会の仕事というのはちょうど駅伝のように、過去の良いものに何かプラスして次代にバトンタッチすることだと思っております。又、全国の読者の先生方、当県はこれといった大工場もありませんが、素晴らしい観光地を持っております。



立川俊介

専務理事

来年は世界40カ国が集まるマスターズ・オリンピックが計画されておりますし、有名球団も毎年此处でキャンプを張ります。歯科に関する全国大会もぜひこの景勝地が点在する当地で開催して欲しい、そう願っております。

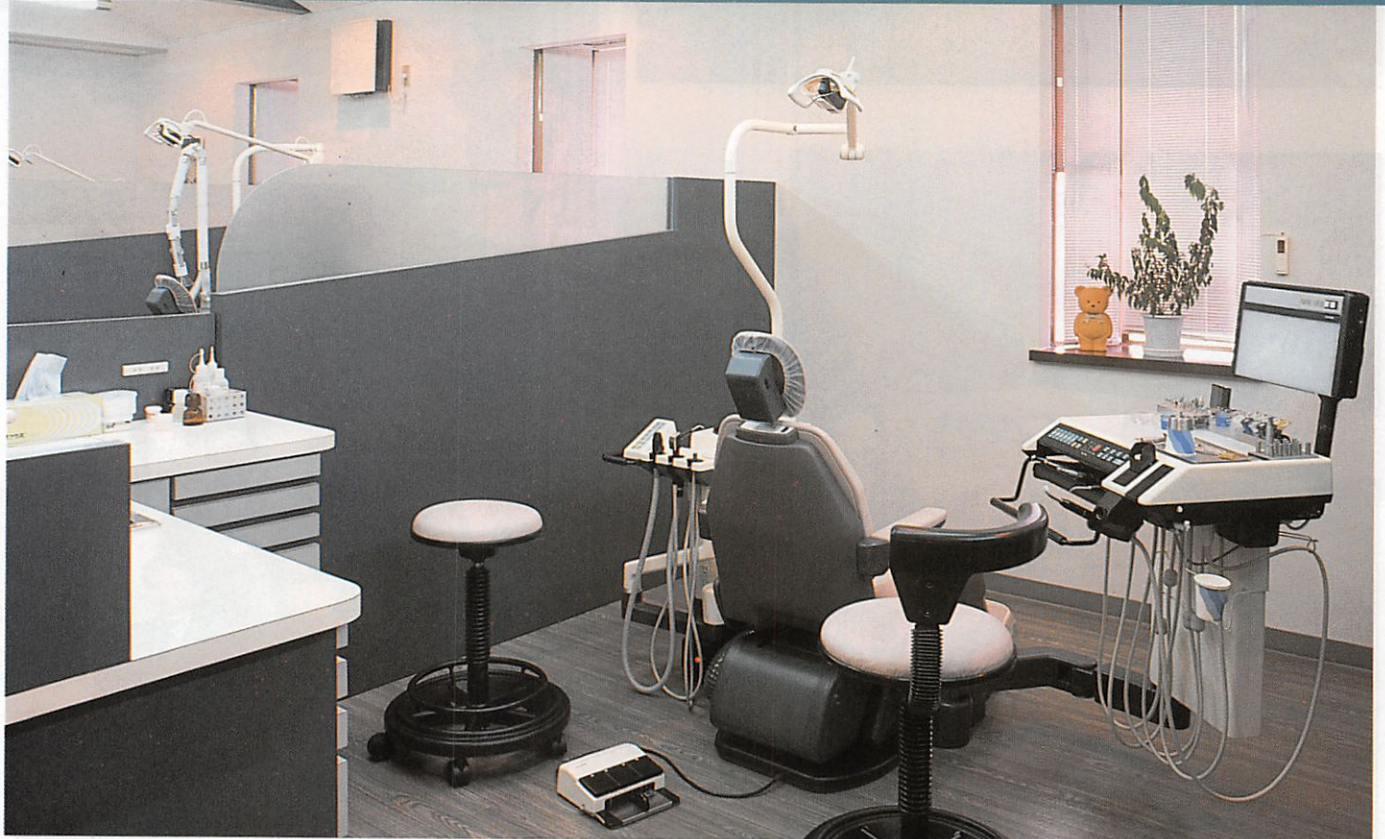




野村歯科クリニック

群馬県新田郡新田町村田514-2

院長 野村貴正





東武線・太田駅より伊勢崎方面に向かって車でおよそ15分。ご紹介の野村歯科クリニックは豊かな田園地帯に建つ静かな住宅地に囲まれた典型的な郊外歯科医院。前面に車がおおよそ15~16台、トラックさえ充分Uターン可能と思われる程の広い駐車場を確保。建物はクリーム色の外壁に片流れの濃茶の屋根、モダンさと落ち着き、その双方を感じさせる巧みな外観である。

玄関入口には医院名と共に、看板と同じシンボルマーク——歯を両手で包み込み、中心にレッドクロスが配されている。このマークは救急と共に「生命」を感じさせ人々に安心感を与える雰囲気がある。良く考えられた素晴らしいシンボルマーク、と感心する。

待合室はグレーの床に、おおよそ10人は座れると思われるブルーの椅子が。受付台は木目の広いオープンカウンター。

診療室はグレーの細い木目の床に壁は白。特に各ユニット間には天窓を配し片流れの高い天井と床面と平行に走る濃茶の太い梁（はり）は、モダン一辺倒とは違った“やすらぎ”を感じさせる。

各ユニットも室内に合わせ濃・淡グレーのツートンカラーに統一。入口近くにはスマイリー<GM>を設置。その前面にはマルチビジョン、傍らにはカウンセリングコーナーを設け、患者自身の口腔状態を見せながら、診療内容、あるいは刷牙指導等を説明、と多方面に利用されている。その奥には写真でもおわかりのように、ゆったりとしたパーティションで囲み、中にはスマイリー <AZ> を3台設置。又、別室には三間四方はあるかと思

われる特診室を設け、ここには現在日本製では最高と云われている<ユニオート X9000>を設置、文字通り特別な診療を要する患者用に当てられている。一見して、この医院は患者の心理状態までも考慮された、かなり高度な診療体制を組んでいるな、と感じさせる雰囲気、設計となっている。

院長は日本大学松戸歯学部を昭和63年にご卒業。卒後は東京の病院で4年間勤務医を経験。昨年6月、生まれ故郷にほど近い此処新田町で開業に踏みきられた。

歯科医師も人生も、幕が上がったばかりの30才である。

Q：広い敷地、ゆったりとした診療室。総てご自身で？

院長：いいえ、土地は300坪ありますが、父が提供してくれました。建物は自分で設計士と相談しつつ作り上げました。はい、恵まれていると感謝しております。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：東京にいる頃、他の先生から私自身が歯の治療を受けまして、その経験から。パーティションは、自分の痛みや口腔状態、又話しの内容を他人に聞かれたくなかったから必要と思ひ…。高さも外科処置を立位でやる私の身長に合わせ少々高くしました。天井は、施術者にはわからないのですが、患者さんは治療中ずっと天井ばかり見ているんですね。それで少しでも気分が和らぐように広々とした視界を、と高くしました。天窓は、採光は充

分に取ったつもりでもシェイドなど、更に見やすいようにと設けました。配色は、最初にユニットが決まりましたから、それに合わせて総ての色を。ほぼ満足通りに出来上がり快適ですよ(笑)。

Q：お父様は実業家とお聞きましたが、そのご長男で男1人。何故歯科医師に？

院長：さあ(笑)。父は今では事業をやめていますし、子供の頃から歯科に興味があったんです。それと自分で思い通りに出来る仕事。この両方で…、親も反対しませんでした。

Q：患者層は？

院長：自営業の方と農家の方が多いですね。ですから秋口(農繁時)にはちょっと暇になります。ご家族の内、1人が来院しますと皆さん続いて来てくれまして、有難いと同時に、常に全力で治療をせねば、と思っております。

Q：診療方針は？又、東京とのギャップは？

院長：東京の病院時代はドクターの数も多かったし、内容重視の診療方針だったので、1日10人位が限度でした。開業しても、その内容の質を落とさたくありませんから、今後とも来院者数と医院の質——高度な歯科医療の提供——そのバランスには悩まされるかもしれませんね。今はドクター2名で1日30人位ですが、最初は患者さんも、そんな説明(治療内容の詳細)を今迄受けたことがない、と戸惑っていましたが、口腔状態をキチッと説明し、要する時間、費用等話しますと納得されます。もちろんその人(患者)次第ですが、



交通費や時間を考えれば、1回の診療に濃い内容の治療が受けられればずっと良い筈ですから。また開業まもないので再診の患者さんはほとんどおりませんが、定期検診制も導入しておりますから、私はむろんのこと、スタッフも患者さん1人1人の口腔状態を、初診、治療終了時、そしてリコール時と、どのように変化したかを流れに沿って、随時マルチビジョンを見せながら、説明出来るような態勢づくりをしております。

Q：特診室を作られたのは？

院長：インプラントや、長時間を要する処置の時に他の患者さんの出入りを気にせず診療を受けられ終わった後もゆっくり休んでもらうために設けました。

Q：インプラントに対するお考えは？

院長：私の考えは、開業医は、知らない出来ないでは通用しませんから、治療総てにおいてオールマイティーな力を持つこと。その為インプラントも東京ではその権威者についてずっと勉強を続けましたし、今でも毎月1回東京に行き研修、講習会等に出席しております。ただインプラントは、希望する患者さんでも、その人の口腔状態や終わっても必ず定期検診に来れる人、又経済力や年齢、食事の好み等、総てに合致する人だけを対象に行っております。先日にも長野から来院された方がいますが、定期検診はおそらく不可能であろうと事情を説明し納得していただきました。

Q：歯科医師となられた現在のご心境は？

院長：当たり前でしょうが、医療の勉強にはキリがありませんし、性格かな、勉強したことを実行しないと、何か手を抜いたように自分で思えて(笑)…。でもやったことが、正直に反応して来ますので、やりがいもあるし、毎日の仕事がたのしいですね。ただこれが、来院者数があまり多いと、説明する時間もなく治療に追われてしまいますから…。従ってお互いに納得した高度な治療が出来ません。一口腔単位を基本とした診療。最初は患者さん個人の認識の違いもあり難しいですが、今後もこの姿勢を貫いてやって生き度いと思っております。

Q：オサダのスマイリー<AZ>、<ユニオー

トX>を選んで頂けたのは？

院長：勤務医時代は他社製品だったんですが、お店の方(山岸歯科商店)と知り合い、自分の診療方針その他を相談して決められました。患者さんも、材料や質など口腔内のことはあまりよくわかりませんが、ユニットはスピットン1つ取っても一目瞭然、素晴らしい機械だ、とわかりますし、自分は今最高の治療を受けているという心の満足感がある様に思えます。AZはユニオーと同じ操作パネルで、勤務医の先生方も戸惑うことがないからと。人それぞれ好みは違いますが、私はどちらかと云えば重量感のあるユニットが好きでした(笑)。今は良かったと思っております。





富永歯科医院

長崎市かき道1丁目977-10

院長 富永陽助





有明海に面した山裾の海岸線を走る電車が長いトンネルを抜けたところが長崎駅。車窓から両側に迫る山々と、そこにピシリ建ち並ぶ家並を見ていると、この街の人達は横に移動するよりもタテに動いて生活をしているのではないかとさえ思える。

ご紹介の富永歯科医院も長崎駅からわずか15～20分の距離であるが、丘をこえ、ひと山越えたと感ずる海岸線の近く、交差点角に建っていた。

近年急速に発展した郊外地らしく、人家もさほど密集していないが、整地された広い道路と建ち並ぶレストランやオートショップ等々。おそらく数年後には大きく発展する町となる。

医院外観はグレーを基本色に、前面は床までのガラスをはめ込み、下半分は和紙模様、上部を素通しガラスとし、それを囲む枠、柱等を赤で塗色。医院看板がなければ中華レストランか、と見誤る思い切った色を使用されている。

待合室は濃・淡グレーの市松模様の床に壁・天井は白。受付はグレーのグラデーションのオープンカウンター。診療室との境のドアは黄色、化粧室のドアは赤。片隅に置かれた木馬と赤ちゃん用のベッドから、当院が若い家庭からの来院者が多いようだな、と感ずる。

診療室は、先述の和紙模様の窓に沿って、グレーのスマイリー〈ノーベル〉が3台。大きく1、2、3と描かれたパーティションの中に並んでいる。ユニット背面は広い空間。

仕切り壁を挟んで左側は手洗いコーナー。前面は写真でもおわかりのようにグリーン、ピンク、グレーの幾何模様を描かれている。仕切りの右側、入口近くにカウンセリング&ブラッシングコーナーを設置。前面に曲線の仕切り壁を立て、これも受付同様、濃から淡へのグレーのグラデーションで統一されている。ちょっと見には、公園の遊び場を思わせる、これ又思い切った室内雰囲気仕上げています。

近年歯科診療室は、独自のデザインや色を配し、たのしく気軽に来れる場を提供しようという傾向にある。

考えてみれば、近頃の患者さんはセデスの広告に出て来るような、痛みで腫れ上がった顔をした人はほとんど稀。早め早めの治療や予防、あるいはより審美的な容顔づくりのために、といった目的で来院される方が圧倒的だ。そうなれば当然、受け入れる側も重々しく重厚な雰囲気よりも、明るくたのしく、遊び心を取り入れた方がより効果的であると考えられる。そういった意味では当院はむしろ時代の要望、患者心理を考えた先端をゆく歯科医院であるといえよう。

院長はお生まれ、育ちとも長崎市。長崎大学歯学部（第1回生）をご卒業。卒後はそのまま大学に残り、6年間研修生活を。昨年8月、当地にて開業にふみ切られた。

33才の若きリーダーのもと、ピンクの作業衣を着けたスタッフ一同も明るく華やか。開業4ヶ月余りであるが、順風を受けての船出、と見受けられた。

Q：時代の先取りをしたような、たのしくなる歯科医院ですね。

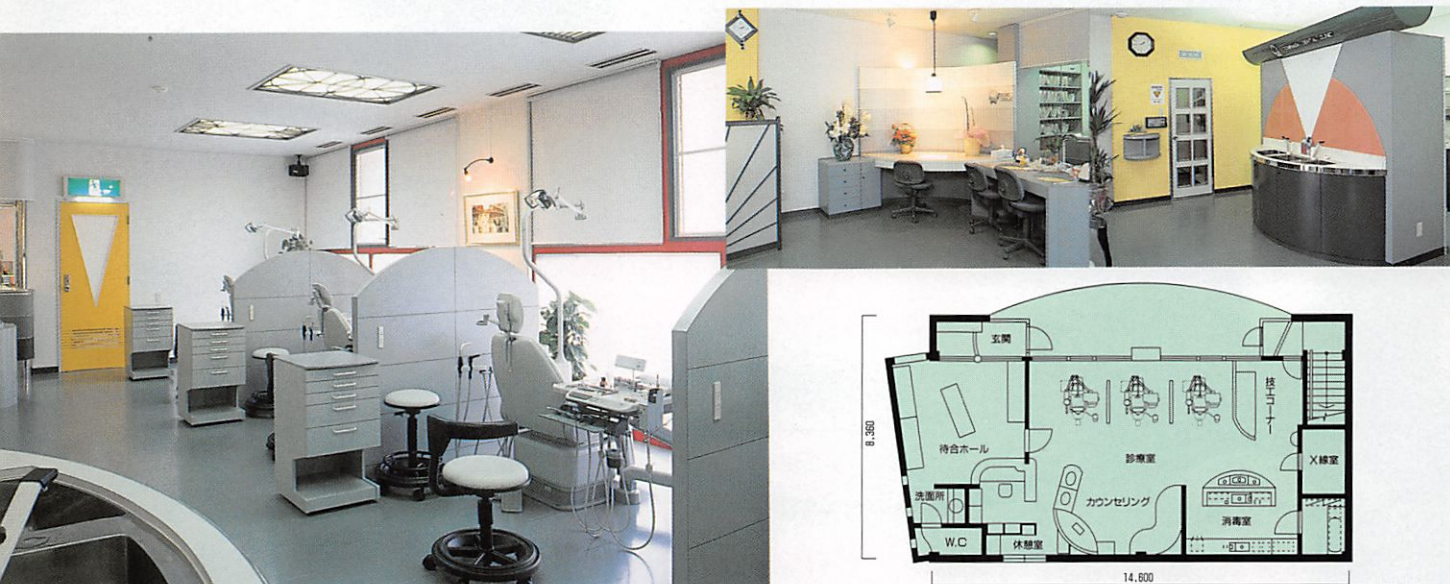
院長：博多に住む友人の設計士さんをお願いしたのですが…。お互いの意見がいつも共通していたのは、「医院のイメージを全く消し去った方が良い」ということです。配色はグレーを基本色として赤と黄を採用しましたが、これは長崎を代表するイメージカラーだと思うのです。赤は中華街を思い出させますし、黄は昔から有名なカステラ＝長崎という感じがありますね。思い切った配色だとは思いますが、医院＝白というイメージだけは消したいと思いましたから。ただ、実際の診療生活に入ってみて、赤はシェイドを見る時ちょっと不慣れな、と感じております。その他は機能的で動きやすく、今のところは全く不満はありません。

Q：広い敷地と建物。ご自身でご購入？

院長：父も開業医だったんですが、中学時代に亡くなり、土地も狭かったので、開業に先立ちあちこち探しました。ここは以前倉庫だったんですよ。主な柱はそのまま残し、内装をして開業したのですが、正直不安も一杯。これからが大変ですよ（笑）。

Q：開業4ヶ月余。患者さんは定着して来ましたか？

院長：ええ、まあそろそろ、というところですね（笑）。すぐ前の山の上に団地が出来たものですから、そこからの患者さんが今のところは多いですね。3才～5才位



のお子さんも多く、その点少々苦勞しております(笑)。現在1日20名ちょっと、というところですが、キチッと治療すればだんだん増えるでしょうが、大学での診療生活に慣れていたものですから、あと10人位で精一杯、限度でしょうね(笑)。

Q：長く大学におられて…。ご開業に踏み切ったのは？

院長：保存科に長くおまして、毎日のはたしかたのですが、歯科はやっぱりペリオにしても最後には補綴に行き着くのではないかという気持ちが湧き、それなら思い切って開業した方が良いのではと。ただ、今の保険ですと、自分が本当に良いと思ったものと差があり過ぎて、その辺が悩みです。又、開業は歯科医であった父ということから、長男でもあるし母の夢、希望でもあったのです。

Q：で、今のご心境は？

院長：歯科医として合っているかどうかはわかりませんが、自分では好きですし、良かったと思っております。

Q：どのようなところが好きですか？

院長：患者さんの口腔状態は皆違っております。これを自分でいかにモディファイしていくか。治療と共にこれから起こり得る可能性まで考え治していく。これが面白いし好きですね。一度治療が終わった患者さんが、ちょっとこの辺が、と相談を交えながら再び来院してくれますとうれしいですね。

Q：ご自身の勉強、又スタッフの教育につ

ては？

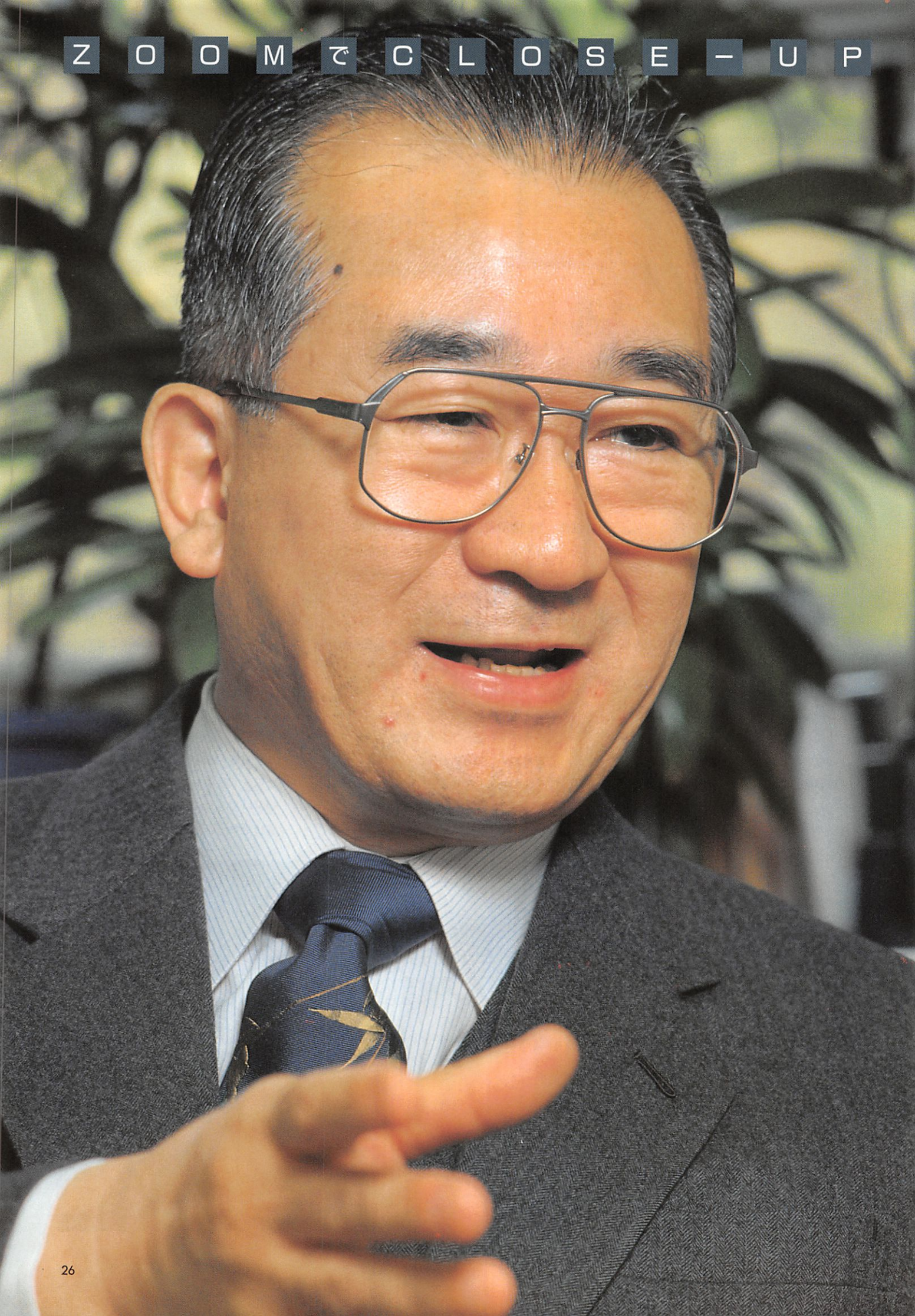
院長：まだ開業まもないので時間的にも難しいですが、時間の許すかぎり、勉強会や研修会に参加しております。以前教授から云われた言葉ですが、“とにかく患者さんの言い分をよく聞くこと。自分ではこれで完全だと思っても、患者さんが痛いと言ったら、それを見つける努力をなさい。それが医師として大切なことです”といわれた言葉を、今は忠実に守って行こうと思っております。スタッフ教育についてはその都度、いまはこの治療をこの為に行っているんだよ、とチェアサイドでの説明をしております。

Q：オサダの〈ノーベル〉、どうして選ばれた

のですか？

院長：大学では、どこに行っても戸惑わない様にと、教授の方針でほとんどのメーカーが入っておりました。オサダを選んだのは故障が少なく、アフターが良いとの評判からです。ノーベルL型は、型もシンプルで圧迫感がないということで、L型は立位でやる時はやはり足折れ式の方がやりやすいからです。オーパングは自分が以前治療を受けた時、嫌だなと感じましたので避けました。まあ、最初から、開業する時はオサダのユニットを、と思っておりましたので、後は自分の希望をいって入れてもらった、というのが実状ですね(笑)。





奥野善彦先生 の巻

大阪大学歯学部歯科補綴学
第2講座教授

広大な千里ニュータウンの丘陵地に建つ大阪大学。歯学部もその一角、金色に輝く初冬の本木の中、コバルトブルーの空を背景に真っ白な姿を見せていた。

今回のリレー訪問は、教授の傍ら、多数の著書と講演等で全国にその名を知られる補綴学の大家のお一人である奥野善彦先生を阪大歯学部の教授室にお訪ねした。

端正な容貌、ピチッと着こなしした三ッ揃いの背広、穏やかであるがハッキリとした発音・口調。まさに紳士の見本を思わせる先生である。

—ご専門の補綴学の現状について「以前は大学病院に紹介で来られる患者さんは、口腔外科の手術や歯科矯正など、歯科でもどちらかと云えば特殊な分野・治療に属する方が多かったのですが、近年は有床義歯の患者さんが非常に多くなってまいりました。その原因として考えられるのは、患者さんのニーズが複雑・多様化されたことと、高齢になっても積極的に外部とのコミュニケーションを持ちたいという方が増えたことです。外部に出れば当然、しゃべり、好きな物を食べ、時には大口を開けて笑いたい、という要望が強くなりますし、審美的な面も、と気になるようになります。有床義歯の患者さんは60~70才位の方が多のですが、その方達は若い方と違って団結力というか、横のつながりが非常に強く、歯に関しても、どこの病院・医院が良いのか、時間は？費用は？先生の感じは？じゃあ私もそこで、となるようです。ですからその年齢の方々の来院者は紹介が多いですね。高齢化社会を迎えた社会的背景とその人達の心理状況。地域の開業医にとっても参考になるお話である。「以前ある所で講演を依頼された時お話ししたんですが、“人間には8つの『快』がある。それは快食、快眠、快便、快尿、快談、快笑、快步、快声です。”その内直接歯に関係するものは4つ。これを助けて、より快適に日々を過ごすお手

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

伝いをするのが義歯、即ち歯科医師であるわけです。来院される義歯の患者さんに渡されるという小冊子「ハナシのハナシ（歯無しの話）——長寿時代の第3の歯」には、歯の重要さから始まり、義歯の種類、必要性、取扱いの注意や手入れ方法まで素人にもわかるように詳しく解説されている。直接本人に利害関係のある個人医院、あるいは専門家を養成する学校向けならわかるが、大学教授がこれほど丁寧に患者さんに対応されているのはめずらしい。先生の患者さんを思う心が伝わって来る。「私はよく初診の方に“あなたはスキヤキが全部食べられますか”と聞きます。これには色々な意味がありまして……。



まず外国と違って日本では食器から始まり中身まで総て個人別に分けられているため、食事に一家が揃わなくても格別困らない。しかしスキヤキは一同揃って一家団欒の中、皆で食べます。その食べ物も豆腐等の柔らかいものから、葱、肉等、かなり咀嚼力を必要とするものまで一つ鍋の中に入っております。そんな時歯が不自由だと、食べられないという屈辱感、時には一家の中で心理的な疎外感さえ味わうようです。それで私は、スキヤキを食べられますか？と聞き、その患者さんの食物・生活背景を知るのです。長年臨床に携わり、しかも高齢者と接して来られた方だけに、短い会話の中で患者さんの生活状態全般を知ることが巧みだ。「それと言葉使い。これも大切で、よく若い先生、スタッフの方々の中にはご本人は親しみの意味をこめて、“おじいちゃん、おばあちゃん”と気軽に呼びかけますが、このあとが幼児言葉になって、時によってはプライドを傷つけ、大変失礼になったりします。キチッと名前を呼ぶべきですね。時々電車内のシルバーシートを譲ってあげて怒られた、という話を耳にす

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

るが、心までを含めた年齢は個人差が大きい。言葉の難しさ、大切さを知る。

お生まれ育ちとも大阪。お父様も同じ阪大であるが、医学部を卒業された小児科の医師。「私も医者になるつもりで医学部に入ったんですが、この時、国立総合大学としては日本で初めての歯学部が本学に出来たのです。もともと模型作りなど細かいことが小さな頃から好きだったものですから、技作業



などを見ている内にこれは面白そうだな、自分に合っていると転部したのです。今でもワイヤーベンディングなど、手作業が大好きなんですよ(笑)」と歯科に進まれた動機を。—ご開業は考えられませんでしたか？「当初は考えていましたよ。中古のチェアまで買って準備していたんですが、卒業時10人の同級生のほとんどが大学に残ったものだから、なんとなく気がひけて(笑)…。気がついたらこんなになっていました(笑)」。—補綴学を選ばれ、現在のご心境は？「補綴の中でも義歯の患者さんは一生を通じ、口腔の変化によって何回も来院されます。今でも私が昭和29年、臨床実習時代の患者さんも来られていますし、“先生死ぬまでお願いしますね”と言われますと、良い職業、職種を選んで良かったな、と思いますね。制度によって今年退官になります、と言われるが、それこそ先生のおっしゃるように63才ではまだまだ壮年。知識と共に名人と言われる義歯作りを患者さんはむろんのこと、少しでも多くの歯科医師に伝授して欲しいと願う次第である。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



中国

(その1)

はじめに

改革・開放政策下、中国の経済市場化が急スピードで進んでいるらしく、最近アメリカのマスコミに中国の話題が増えてきた。「21世紀は中国の世紀」という言葉も時々耳にする。

人生の半分以上をアメリカで過ごすこととなった私だが、「中国」は不思議なほど心理的に身近い。子供の頃から聞きなれた表現、格言の多くは論語、孟子、孔子、史記、詩経から

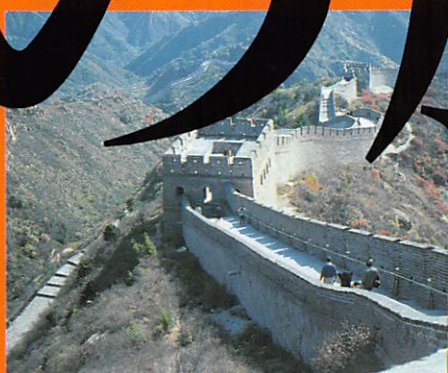
出典しており、「読書百遍義自ら見る」で、知らぬ中にそれらの言葉は私の座右の銘となっている。

異文化のアメリカ社会でとまどうことは多かった。その都度この東洋哲学は、「日本人」として生きる私の道しるべとなり、気力となった。そういうわけなので、古典文学を通して知る「中国」に対し、私は格式高い師に対するような親しみと敬服の念を抱いている。



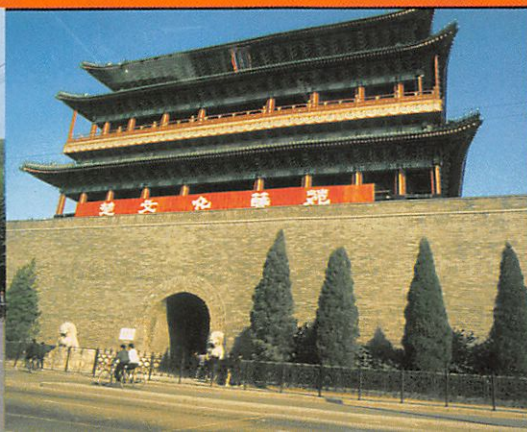
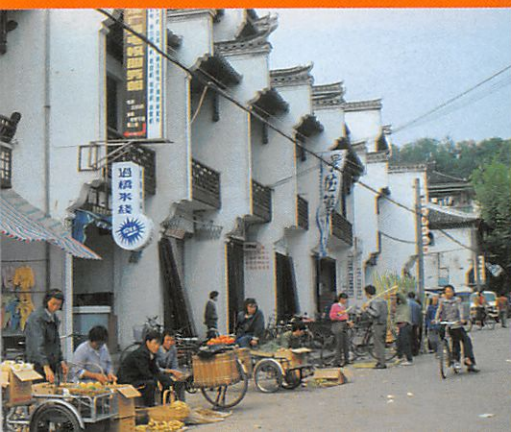


の旅



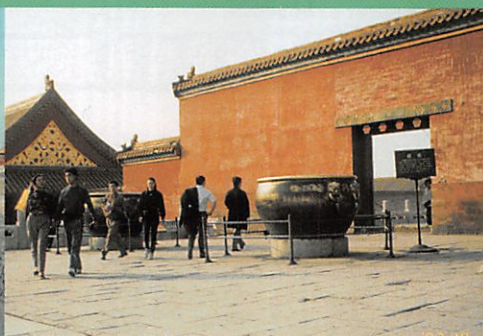
しかし私は「生きた」中国を知らない。
昔から是非一度訪れたいと願いながら、そして他の国々には身軽に出かける私なのに、こと中国となると何故か腰が重いのだ。多分にそれは、とてつもない膨大さ、深遠さを感じての気臆れだったかと思われる。

「その中」と思っている中にソ連は崩壊し、冷戦には幕が下り、中国の市場経済移行は本格化し、中国消費市場の急激な伸びに世界の





故宮博物院



注目が集まりだした。この調子で行くと、中国の姿が大きく変わってしまうのは、日本同様、時間の問題である。

その前に是非、私の生涯の良き友であり師であった「中国」の生れ故郷を見ておきたい。

そう熱望した私は、到頭10月初旬2週間の予定で、長年願った中国の旅に飛び立つ決心をした。最初はいつものように独り旅の予定だったが、知人の紹介で丁度同時期、日本から友好訪中団が出発することになっていたの

で、それに特別参加させて貰うこととなった。取材で団体旅行は私にとって初めての体験である。この「安慶桜の園後援会」のグループは大阪出発となっていたので、前夜大阪一泊することとなった私は東京の姉に電話した。出発一週間前のことである。「私に会いに大阪 comeback ませんか？」という為の電話だったが、話している中に「一諸に中国に行きませんか？」となった。

人生を50年以上波瀾万丈式に生きてくると、人間には或る種の感傷と勤が生れるものだ。私が突然姉に同行を勧める気になった理由はいくつかあった。

姉も1年前から友人達と中国旅行を企画していたが、メンバーのひとりが骨折してそれ



が延期となっていたこと。父の名が虎二郎であったところから、「虎は千里の道を行く」から、長子として生れた姉は「親の10倍は遠くへ行くように」との願いを込めて「万里子」と名付けられた。万里の長城になぞらえて、である。その万里の長城を訪れる機会を逃すことはない、と考えたこと。そして姉が同行してくれれば便利だと思ったこと、である。姉は歴史や古典に造詣が深いから、私にとって中国「歩く百科辞典」となるに違いない。

更に又、姉妹として一緒に旅をしたい、という感傷があった。同じ親から命を受けたこの人をもっと深く知りたい、そうすることで両親のこと、先祖のこと、ひいては昔と今の日本のことをもっと深く知りたい、という願いがあった。

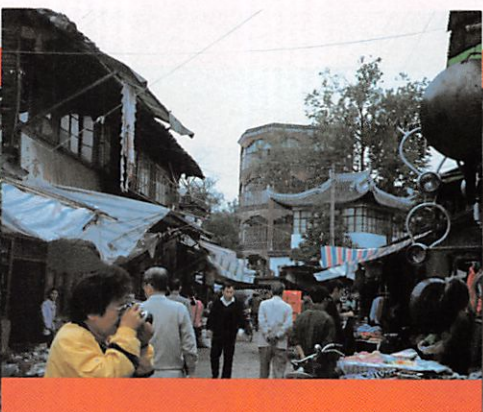
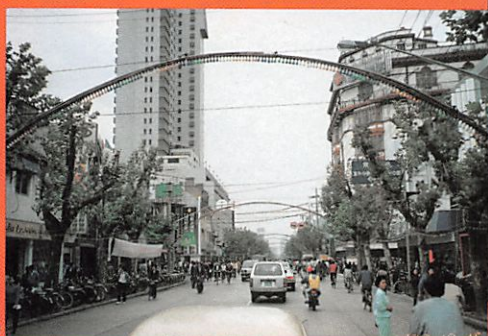
普通なら出発1週間前に飛び込み特別参加は不可能であったに違いない。しかし姉の同行はそうなるべく定められていたらしく、全く順調に決定した。訪中団のメンバーのひとりが病気で参加出来なくなったところだったので、旅行代理店にとっても都合が良かったというわけである。

行程は上海、北京、合肥、安慶、景德鎮、屯溪で、私は100本近いフィルムと3台のカメラを抱えてニューヨークを飛び立った。

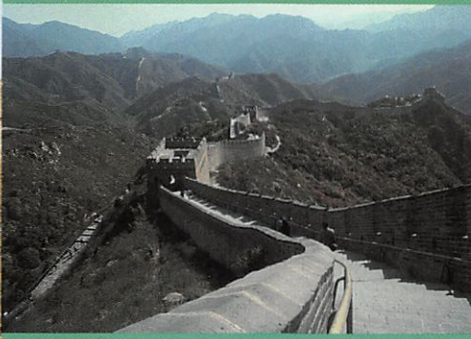
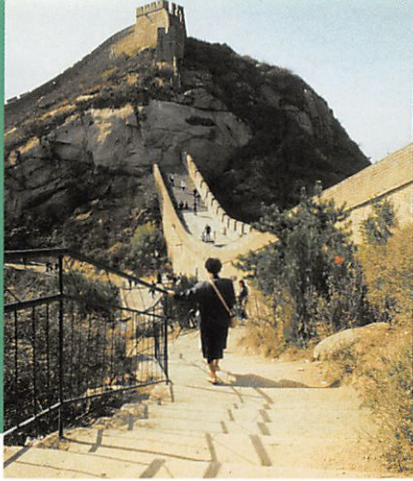


50億を越える世界人口の22%の人々が中国に住んでいる。90年の人口調査では、その26.2%が都会、73.8%が田舎、という配分になっている。

田舎では、限り無く広がる大自然の中で人



歯科器材店



も水牛も些やかな豆粒となるが、上海の様な都会となると怒濤のように押し寄せる群集の波となる。早朝出勤で天安門の傍で見かける人の流れは、ゆったりした潮流を思わせ、朝夕スイスイと自転車で出勤や家路につく人の姿は、時には川の流れ、時には湖面のさざなみを思わせる。

中国の将来を左右する最大天然資源はその人々であることは間違いない、というのが私が受けた強烈な第一印象だった。

午前4時前、上海の汽車の改札口から出ようとする私達につめ寄せる群集の波には、圧倒を通り越して恐怖を感じる。天安門の穏かな人の波も、何時潮流が変わって押し寄せる人の波となるか判らない意識があるので落着けない。

しかし田舎となると話は別だった。個々の庶民のあるがままの日常生活を、あらゆる角度から垣間見る機会に恵まれたからだ。道端で歯を磨く人、立ったままで茶碗を片手に食事する人、首を絞めたばかりのアヒルの処理にかかる人、小池の傍の石の上で10センチ足らずの小魚を20センチもある包丁でさばいている人。アヒルの群れを追う人、水牛を引張る人、塗炭や砂糖黍や竹や石やを満載したりヤカーを引く人、荷車を押す人、天秤棒で物



を運ぶ人、小池に釣り糸をたれる人の傍でジャブジャブ洗濯をする人——。

車で5時間も田舎を走っていると、タイム・カプセルで昔の人間社会に戻った気分となる。そして昔は何と自然・生物・人間の3つの社会が共存していたことか、という思いに感動する。そしてそこでは、何とみんなが一人間も動物も物に至る迄が——一生懸命に生きていたことか、に肅然となる。

ロバや水牛が人間以上の貴重な労働力であるのは云う迄もないが、食糧となる豚やアヒルやニワトリ迄が、この世に生きている間はそれぞれの「役割」に忙しい。

中国の習慣で、家庭での食事の際の食ベカスはテーブルの下に捨てて良い。すると待っていましたとばかり豚やニワトリが駆け寄っ

て、「残飯整理」に従事する。

その他のゴミ、汚物整理・処理も、殆んど彼らの役割だ。田舎で見かける御不浄は、真中に長方形の穴を開けたコンクリートの床で、その穴から人糞が下の溜穴に落ちる仕掛となっている。昔日本でもそうしたように、人糞は畠の肥やしに使われるのだが、あたりをニワトリが走り回っているのを見ると、人糞の中にうごめく蛆を片付けているらしい。近代社会では糞を目の仇にするが、糞だって子孫繁栄を計らねばならず、人間にとっては汚物でも彼らにとっては最高の栄養物で、そこで生を受けた幼虫は、ニワトリの餌とならずに済めば、彼らなりのスケールで汚物処理に尽くすわけである。

場所に依ると大地に穴を掘り、両側に足場





歯科診療所

の板を無雑作に置いてあるタイプの御不浄にぶつかる。時には傍に可愛い仔豚がつかわれていたりするらしい。何のことも知らぬ日本男性が用を足し、後になって「仔豚は紙替りにお尻をなめる役」でそこにいた、と聞いてじだんだ踏んだそうだ。「一生に一度の体験を仕損なった!」と口惜しがるその顔に此方は抱腹してしまう。

不思議と犬の姿は無かったが、それに代る「番犬」さながらのアヒルがいて、私達のような見慣れぬ人間を見ると声を張りあげて威嚇する。そして此方が逃げないと、何と形相凄まじく突進してくるのだ。

豚はもっと友好的で人なつこい。しかしその賢そうな眼差しでしげしげと見つめられ、親しげに「まあ『遠方より友来たる』のようですねえ。一体どちらから——?」と問いかけられると、此方は全くやるせない気分となってしまふ。

ヨチヨチ歩きの小さな毛糸の玉の様なヒヨコを従え闊歩する雌鳥には深く感動させられた。その姿に、何とも云えない威厳があったからだ。この世での雌鳥の「役目」は、沢山卵を生む為駆け回ってエサを探し、ヒヨコをかえし、それを立派な一人前のニワトリに育てることである。この自然の掟に忠実に、懸

命に生きる時、一羽の雌鳥ですら威風堂々となるものだ、と悟られた瞬間だった。

天来の役目を奪われ「プロイラー」と成り下ったニワトリには、もうこの風格は無いと思う。そういえば、日本やアメリカという近代社会の人間にも、この種の風格は見られなくなってきている。「自然」が遠のくといふか、人間社会が自然の掟に抗う度合が強まるにつれて、この生来の威厳は失われていく様な気がしてならない。



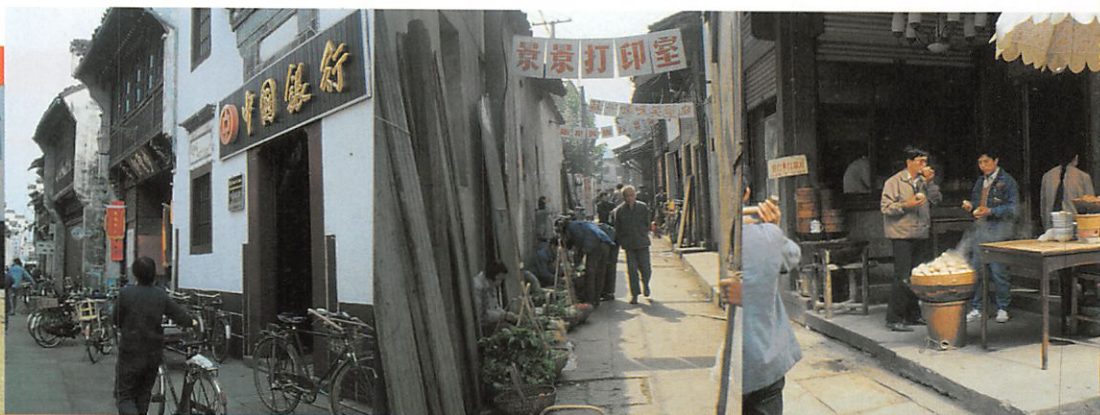
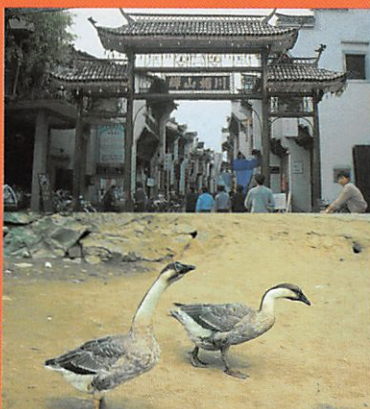
その地域によって差があるが、中国人の収入は月に250元から400元(6,000円から1万円)位である。歯科医、運転手、会社員、労働者の月給は250~300元、役人は400元程度と聞いた。これに毎月のボーナスが加わる。役人は月に100~150元、私企業の方が割が良

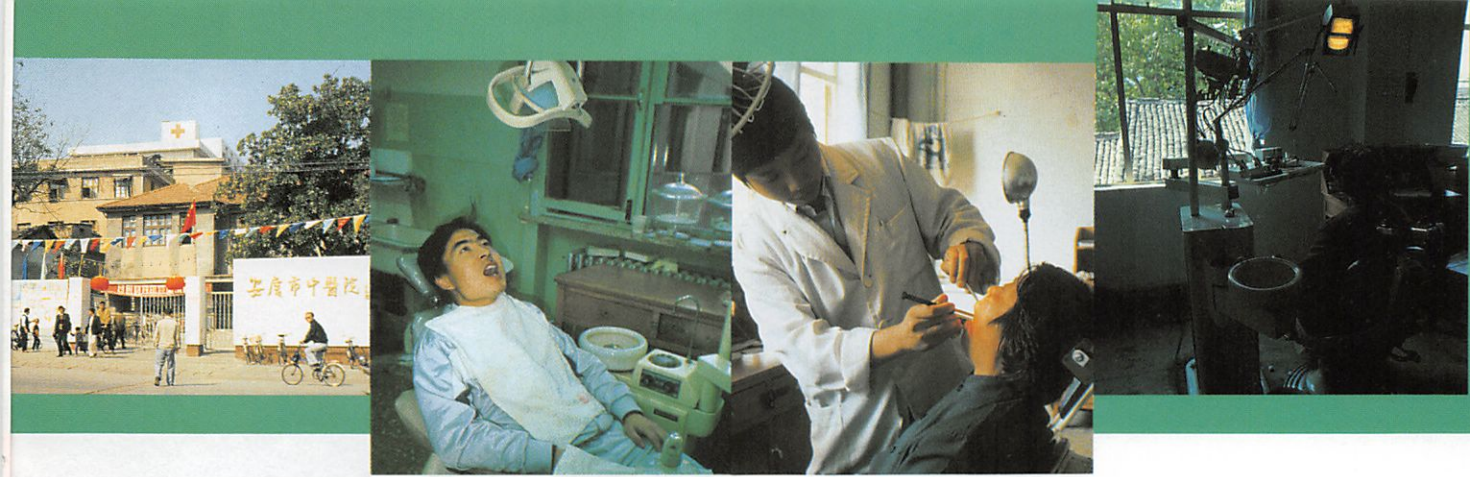
く150~250元位だそうだが、その月の売上げで左右される。旅行シーズンはドライバー、通訳、ガイド達にとってかき入れ時となる。

勤務時間は朝8時から正午、午後2時から5時半までの7時間半だが、夏には午後の時間が3時からとなり6時間半勤務となるのが普通らしい。通勤は地下鉄やバスも利用されるが、まず殆どが自転車だ。朝夕の自転車の波には見とれてしまう。都会ではそれら通勤者の服装も欧米並みといえる。中国通の人の話では、ここ3年位で中国の人々の服装がとても良くなったそうだ。特に女性がキレイになったという。新経済政策で、西側に門戸が開かれ、外国企業・投資誘致、外国との合弁事業に政府が力を入れ出したことがその大きな原因であろう。

実際のところ、若者が一番憧れる職業分野は貿易となっており、それが駄目なら外国と関係ある分野——つまり在中外国企業に勤めるか、外国人相手の通訳や観光ガイドになることが彼らの第一志望の様である。

日本で社会的地位の高い学者や医者、そして芸術家を志望する若者が皆無に近いので驚いた。その理由は、ひと言で云うと「収入が少ない」だ。そこに新経済政策がもたらした企業家・起業家志向を垣間見る気がする。





通勤者を含め、人々の殆どは朝・昼・夜の食事を自宅です。通貨は兌換券(だっかんけん)と人民元に分かれており、中国国内でどこでも通用し、外国通貨と出国の際変換可能なのは兌換券だけである。人民元はホテルやタクシーに使用出来ない。ホテルで人民元が使用出来ないのは、一般庶民のホテルへの足止めと思われる。

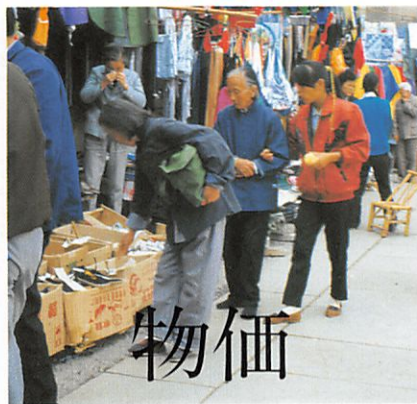


中国国内で兌換券で買物をする時、お釣は人民元でくる。こうしてゴソゴソ溜ってしまった人民元を使い忘れて出国となると、その分だけ中国に「寄付」する形となる。空港付近で人にやってしまったり、記念に持ち帰ったり、となるからだ。

最近の日本は知らないが、ニューヨーカーの私は中国の街も道路も駅もゴミひとつなく

キレイなのに驚いたが、その理由はすぐ判明した。罰金制なのだ。紙屑も、タバコの吸ガラも、ツバも全て一律に五元の罰金徴収となる。中国人も外国人も差別なしにとられる。最初は「注意」でゴミ反対キャンペーン実施を試みたそうだが、人々が云うことを聞かないので、それならと、半日の給料に当たる五元罰金制としたそうだ。

現行犯でつかまって、この罰金取立に反抗すると、その場でインフレ式に罰金がどんどん上がる仕組みとなっているので、みな大人しく支払うそうだ。東京から飛んできた8人の日本人グループが、2時間の飛行中の禁煙が終りヤレヤレと上海空港で到着直後タバコを吸ってつかまり罰金をとられたそうである。



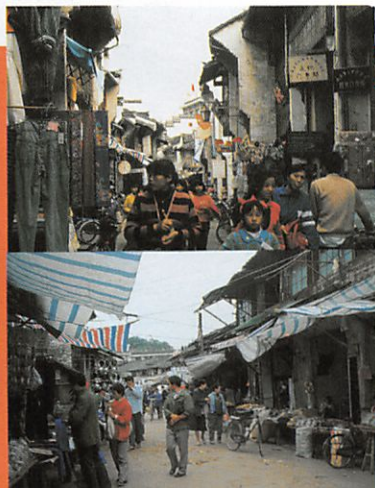
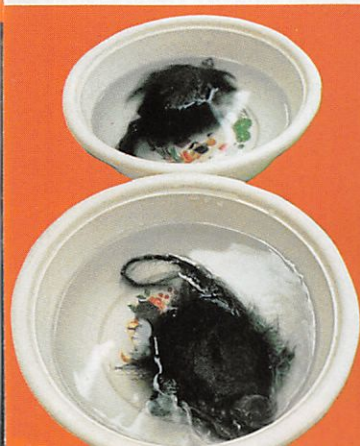
タバコは国産品でも外国品でも一律に10元。若者の喫煙率が急増している模様で、月給の半分以上を毎月のタバコ代として煙にする青年も多いようだ。彼らの月給は250元程度である。

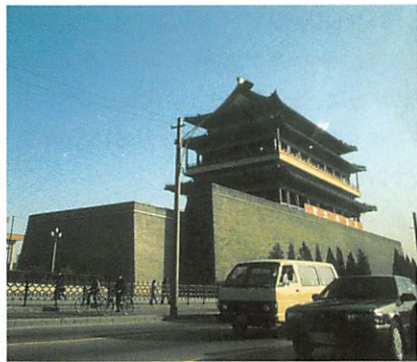
自転車は1台350元位、シューマイ4ヶが7元、ロンチンという中国茶が5元(但しいくらでも熱湯をつぎ足してくれる)、コココーラ類は8~12元、中国製のラムネ式飲料は1ビン1元(ビンはその場で返却)、ホテルのコーヒーは15元、小さいカニ2匹で若者の月給の半月分、アンマ代は30分で60元、市内の赤電話は3分以内の1通話で2角。電話のある家庭はまことに少なく、「金持でも2,000元位先払いして」2年か3年待たねば入手出来ない。学費は大学は無料だが、小学校は100元、中学校は150元、年にかかる。体中苔をはやしたカメを公園で売っていたが、それは1匹3,000元(8万円)。

今回は一括払いの団体旅行なので、ホテル代、食費、交通費、ガイド代、入場料といった明細はとばし、旅行中の体験やガイド、通訳から聞きとった諸費情報をここに記したわけだが、これがなかなか大変だった。

まず私達の生活費との比較で実感的に中国の物価を把握したいとの人情から、どうして

一匹3,000元(8万円)の毛の生えたカメ?





もすぐ円に換算して考える。このレートが日に依って変動するがひとまず1,000円が44円とする。姉や他の人はそれで良いが、この私は更にドルに換算せねばピンとこなくなっている。頭の混乱がはなはだしいので、大きな買物をする時だけ円・ドル換算し、その他は元ベースで考え頭の中の混乱を防ぐこととした。

というのは、その他にも山程混乱、困難することに出喰すからだ。たとえば中国人ガイド、通訳の日本語。驚く程流暢で安心し切っについていくと、突然急ブレーキがかかったり、大地震に出喰したりする。此方の頭の中のことである。

「大変な『アブツク』の人で——」は、一寸考えれば「アバズレ」と判明するが、男性通

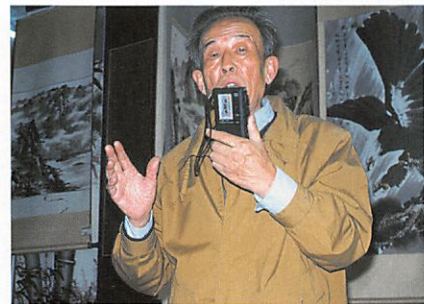
訳が「私の名は『ヤスコ』です」なんていうとビックリして、此方の頭の中は塵芥もうもうとなる。しかしすぐ、これは日本男性がふざけてつけた渾名ではなく、「ヨーシ・コウ」という中国名をなまけて発音したので「ヤスコ」と聞こえたと判りホッとする。

北京の大きなおみやげ店に御不浄拝借で立寄った時、恰幅のいい主人がお茶を出して歓待してくれた。辞退しても、「日本人は珍しいのです。久し振りに日本語を使わせて下さい。私は昔東京の〇〇大学で〇〇を教えました」と、北京の歴史を滔滔と語り出した。そうすると此方は、礼を失しては、としばし腰を落着けざるを得なくなる。そしてこの朗朗と流れるが如き日本語講談の途中で、突然「イイカ！」とか「ヨク聞イトレ！」という言葉が合間的に同じ口から響き渡るのだ。す



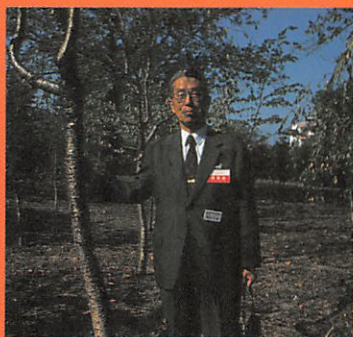
ると此方はつい「ハイッ！」と身を正す気分となってしまう。元々「旧師」のふるさとに來た、という気分があるから仕方ない。

結局、何千元かは忘れたが100ドルで、2頭の駿馬を彫った珍しい石を買ってそこを出た。高い御不浄使用料となったが、私は店の主人の「努力賞」という気分だった。

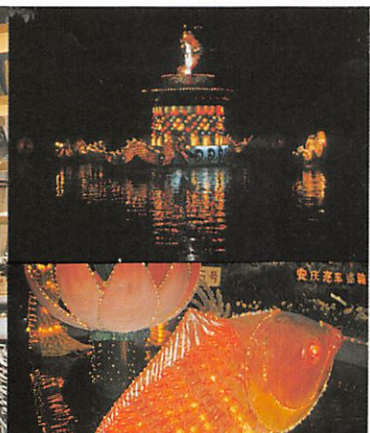
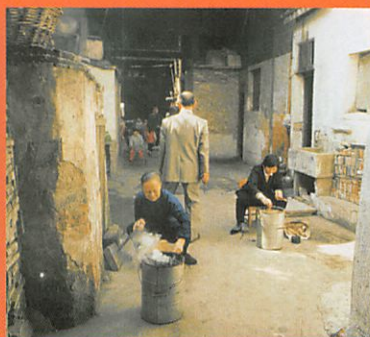


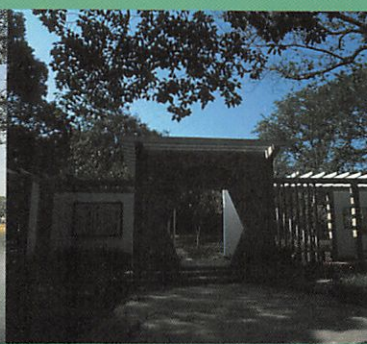
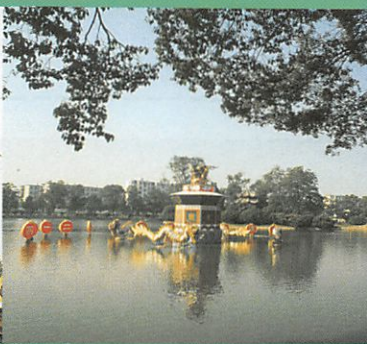
数日後、文房具（筆、墨、硯）で有名な屯溪で、判にするべくこの石に見事な漢字で「岩本蘭子」と彫って貰った。

私は未っ子で、私が生れる頃には価値観が些か変っていたらしい両親は、「遠征しなくてよろしい。只もう平和に健やかに岩の元に蘭の花が天に向かって咲くように」と、「蘭子」と命名された。この駿馬の判を手にする時、両親の笑顔が彷彿し、「いい判が出来て良かったこと」、という声が聞えてくる気がする。



会の代表「織田文雄氏」





上海から南京経由で安慶に向う「安慶桜の園後援会」メンバーとは安慶で落合うこととし、私達はまず北京に飛んだわけで、そこで前出の「ヤスコ」通訳と親しくなった。

彼は23才の好青年で、中国科学技術大学の大学院卒というインテリである。専攻は人類科学でコンピューターが副専攻。中国で最も有名な大学のひとつで、他の有名校は北京大学と清華大学である。

ちなみに中国の資料に依ると、90年に大学レベルに達した人口は1,612万人、シニア高校レベルは9,113万人、ジュニア高校レベルは26,464万人、小学校レベルは42,010万人となっている。

文盲は15才以上で82年度人口の22.8%だったのが、90年度には15.9%と減少しているも

の、まだ1億8千万程の人が満足に読み書き出来ないという実情である。それを抱えての自由経済市場化だから中国政府も大変だ。

「ヤスコ」さんがしきりに母校の話をするのを聞いている中に思い当ることがあった。政府は市場化のエンジンとして、科学技術促進に力を入れている、ということである。科学技術大学には600点満点中570点でなければ入学出来ないが、医学部には400点以下でも入れるようだ。

実際のところ、91年度時点の中国の技術者数は52年度の総数42万7,000人の25.4倍となっている。91年のエンジニア数は510万人、農

産技術者55万人、科学研究分野は29万人といった具合だ。ちなみに医学分野は272万人となっている。

「中国は急速に豊かになりつつある」というのが西側の認識で、又それが事実であろう。しかしこの事実を又、中国に市場経済につきものの諸問題をもたらしている様だ。

鄧小平の市場経済促進の為なら「黄色い猫でも黒い猫でも白い猫でも、ネズミを捕りさえすれば良い猫」という主旨が見事浸透しつつあるようで、優秀な科学技術研究者たちの間に「なりふりかまわず」より良い待遇や機会に走る人が増えていると聞く。(以下次号)

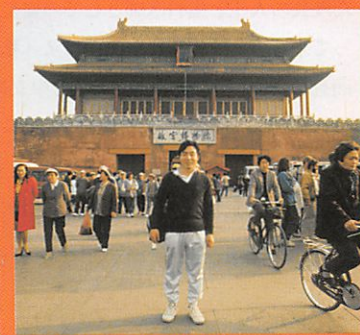


筆者と中国の国務大臣にあたる人

筆者紹介／岩本蘭子
ランコインターナショナル社長



安慶桜の園後援会のパーティー



ガイドの「ヤスコ」さん

オサダの商品
〈お元気ですか?〉

酒井歯科医院

岡山県笠岡市笠岡2216

院長 酒井 壽



JR笠岡駅から徒歩5～6分。アーケード街のほぼ中心地にご開業以来40年余りを迎える酒井歯科医院。

お会いした院長。真っすぐな背筋、赤銅色にやけた顔、若いスタッフに囲まれユーモアを飛ばす矍鑠(かくしゃく)たるご様子はとても昨年73才を迎えられた方とは思えない。今でも連日20名以上の患者さんを診られるという。——健康の秘訣は何でしょう？

「うーん。仕事、ゴルフ、車の運転等でストレスを発散することかな(笑)。又、もう25年も続けているロータリークラブのボランティア活動。会長をやったり地区ガバナーをやったり、毎年外国に行くため、毎週2回英会話を習ったり、忙しく動いているのが間接的に健康維持につながっているのではないですか(笑)。「ただ基本はあくまで歯科医師としての責任を全うすることですね。毎朝7時40分には医院に来てシャッターをあげるのですが、この笠岡市は島(瀬戸内の島々)を持っていて、その一番の定期便が7時に港に着くのです。島の患者さんは1日1便の船に乗って来て、街で歯の治療をし、買物その他の用事をすませ3時の船で島に帰る生活をしています。その方達を寒い玄関前で待たせるわけにはいきません。といってもスタッフにも無理も言えませんから、早朝玄関を開け暖房を入れたりしながら、1人で診療を始めるのです」。長年患者さんと共に生きて来た院長の人生と歯科医師としての姿勢が伝わってくる。——歩まれた道程は？「私は戦前商社に勤め、その後第2次大戦で中支に行き、戦後復員して来てから大阪歯科大学に入学しました。ですから通常より10年遅いんですよ。開業後は技工士学校を開設したり(現名譽校

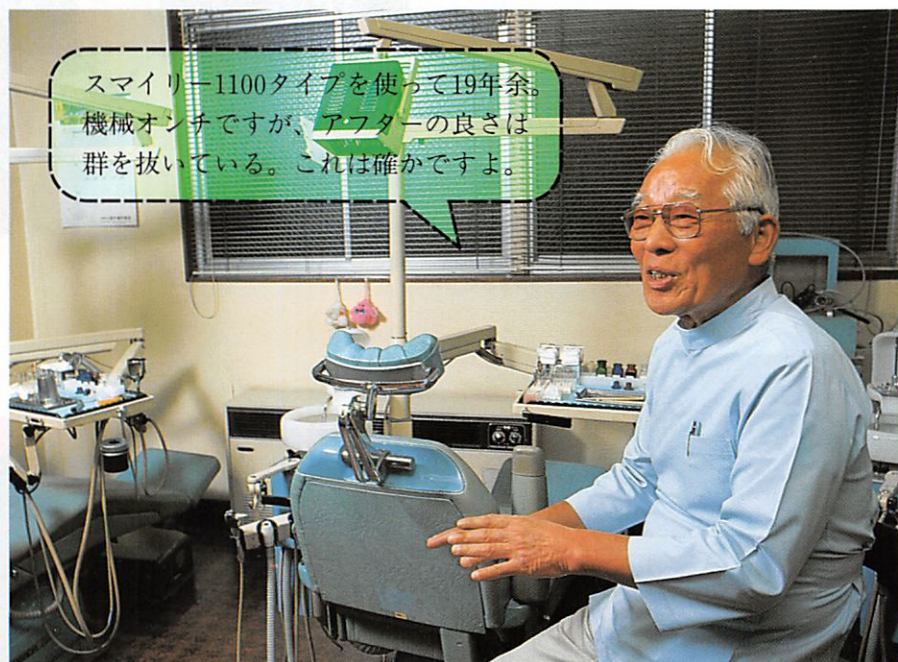


長)、衛生士学校設立に参加したり(現顧問)で中年期を過ごし、今は仕事の傍ら先程言いましたようにロータリークラブの奉仕活動に参加しております。人生の配分というか、設計を思うと案外うまくいったし、恵まれたと思っております。これが歯科医だけの人生だったら、おそらく淋しいでしょうね。ご経歴を見ると、学校開設はもとより、歯科医師会の支部長、県の副会長、厚生大臣彰や文化功労賞の受賞等、青年、壮年期を通してそのご活躍ぶりが窺える。当院で育ち、巣立って行かれた先生方も既に30名以上と聞く。「その方達が毎年集まり、私を招待してくれたり、技工士学校の卒業生も訪ねて来てくれたり…。私の生きて来た大切な財産ですよ」。又こうも「ここまで人間として、歯科医師として無事歩いて来られたのは、何

百人、何千人の方々が私を支え、励まし、信頼してくれたからこそなのです。本当に感謝しております」と。とかく人は功成り遂げると自分1人の力と思いがちだが…。こうした姿勢が現在の院長を更に素晴らしい人として押し上げているのであろう。「人間は当然ですが、身体と共に時代に即応するエネルギーも失われていきます。もちろん何才になっても学ぶ努力・前進を忘れてはいけませんが、先達から頂いた良いものに何かプラスし、次代に受け継ぐ心・生き方が大切ではないかと思えます。何事もそうですが、若い方を育てつつ学ぶ姿勢と、ある年齢になったら柔軟な頭を持つ若い人に道をゆずるべきですね」。

診療室には、オサダから19年前にお買上頂いたスマイリー1100タイプが、今も全く支障なく活躍中。「私は機械オンチで、毎日のケアは女性の方々がやってくれています。もうすぐユニットも20年。ここまで来ますとユニットか私か、どちらが長く持つか競争ですよ(笑)。でもオサダさんのアフターケアの良さ、これは他社より断然良いことだけは確かですね。近頃の患者さんは使用するユニットに対しても目が肥えていまして…。若い娘が来ないのもそれが原因かな。これが今最大の不満ですよ(笑)」。

心・技・体。3拍子揃った、いつまでも若々しい院長である。





DENTAL SPACE

いけがめ歯科

東京都足立区竹の塚1-26-9

院長 池亀征矢子

**患者層を考え、
グレーを基本色として木目の
茶系にグリーンをプラスし、
和らかさを出しました。**

日比谷線北千住経由・竹の塚駅東口より駅ロータリーを右に折れ、商店街を約100mほど、徒歩で3~4分の交差点角に建つ「いけがめ歯科」。グレー地にブルーグリーンの文字看板は一目で若い院長が経営している医院だな、と感じさせる。3階建ての建物はベージュの外壁に、玄関アプローチを梯形にとり、両脇に庭石を配し、数本の植木で着落を出している。

待合室は、下足脇に消毒灯付きのスリッパ入れ。床、診療室入口ドアに木目を使用。壁はグレー。2ヶ所の窓にはグリーンの細型

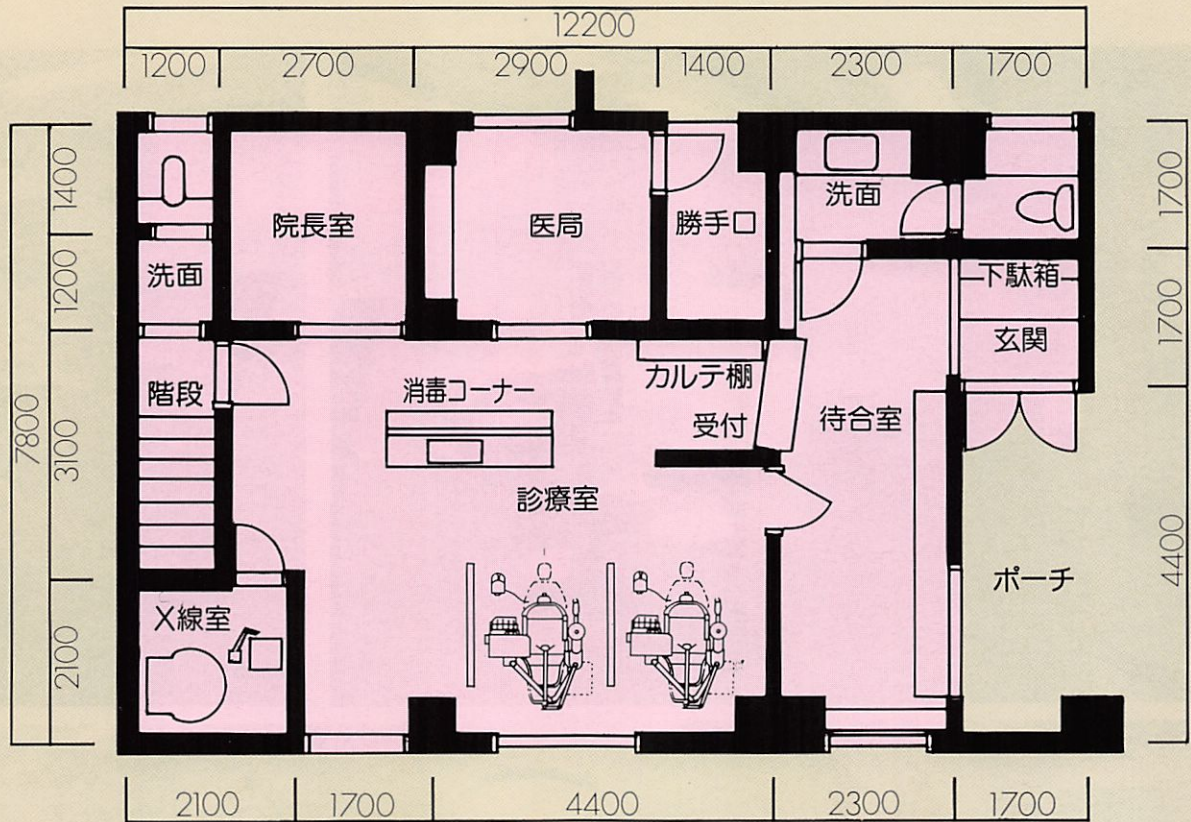
ブラインドを取り付け、ともすれば冷たくなりがちな待合室の雰囲気患者層に合わせ和らいだものになっている。又、窓の外側にはほんの10cm巾ほどの飾り枠ではあるが、そこには小さな鉢花が並べられ、女性らしい華やかな演出もされている。消毒灯や植木鉢、ほんのちょっとしたアイディア、演出であるが、こうした細かな心遣いは、治療前の患者さんの不安感や又潔癖性を取り去る大切な小道具でもある。

診療室は床、壁、天井が白。窓内側におよそ20cm巾の木目の台を取り付けそこには季節

の花々の鉢が置かれている。移動自由な白いパーティションの中には淡いグレーのスマイリー<ノーベル>が2台、それぞれ窓に向かって設置されている。

明るくたのしそうな感じのお嬢さん、といった印象のドクターを中心に2名の女性。撮影時にも“私達笑い出すと止まらないの。何か悲しいことや深刻なことを思い出そうと”、と云いながらも又笑いだすという、スタッフ全員が友達感覚の明るさ一杯の歯科医院。おそらく気の滅入った患者さんにはうれしい歯科医院であろう。

院長は昭和58年に昭和大学歯学部をご卒業された同大一回生。卒業後は大病院で2年半程補綴科勤務生活を送り、その後都心部の医院で7年半、計10年の勤務医生活を経た後、此処竹の塚で開業。お父様(日大歯学部卒)も当地で約30年間開業されていたが、2年前前



- 開業：平成4年10月
- スペース：約88㎡(約26坪)
- ユニット：スマイリー<ノーベル>2台
- 診療時間：10:00～13:00、14:30～18:30、(休日)日曜、祝日、水曜日
- スタッフ構成：歯科医師1名、助手2名
- 患者数：1日約15人



院長 池亀征矢子先生

にご他界。その間閉院されていたと云われるが、さぞ、娘と共に診療を、と望まれていたことであろうと悔やまれる。

Q：ご兄弟は？

院長：弟が1人いるんですが、歯科医は嫌だと云って、コンピューター関係の仕事に進みました。小さい頃より弟が跡をつぐとばかり思っていましたので、今でも戸惑っております。

Q：何故？

院長：私自身、診療は好きなんですが、経営センスは全くないし、とても不安でした。父を見ていて、歯科医はいいな、でもその他の金銭のことや税務、又スタッフ問題などは大変だなあと思っていましたから。

Q：ご存命中、いっしょには考えなかった

のですか？

院長：もし生きていたら、私は勤務医を続けていたと思います。診療方針も形態も、父とは考え方が違いましたから、私がそれを真似することは出来ませんし、お互いに気苦労することはわかっていましたから…。気性が違っていているようで、或いは逆に似過ぎていたのかしら(笑)。

Q：で今患者さんの反応は？

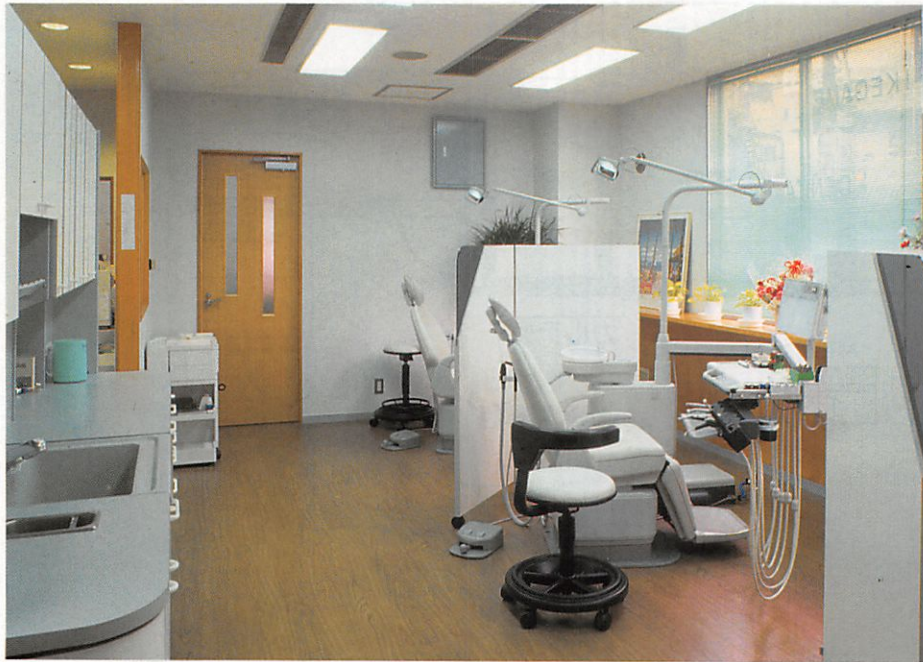
院長：まだ開業2ヶ月余りですが、やはり違いますね。特に今までの方々は、同じ雰囲気や期待されて来院される方もおられて、代が違うところも異なるものかと半分以上はガッカリしているんじゃないかしら(笑)。まず第一は男と女という第一印象。それと父は技工も自分でやりましたから、患者さんが急いでいれば徹夜で入れ歯など作っていましたから

…。私には出来ない現代っ子(笑)。これからは父とは違った良さが患者さんに伝わるように努力し、地域性を考えた治療を心がけたいと思います。

Q：良くまとまっている診療室ですね。

院長：本当ですかー(笑)。設計・配色など総





て自分でやりました。歯科の専門家といわれる人は、オサダの営業の方だけかしら。自分で決めてから、知り合いの大王さんに説明して作ってもらったんです。工事中は私も半分大王になりきってしまったのよ(笑)。同時に税務署や保健所の手続きその他で、出来上がったら、もう終わった、という感じでグッパリ。とてもこれから自分本来の仕事が始まるなんて思えなくて…(笑)。

Q：ご留意された点は？

院長：オサダさんの<ノーベル>のパンフレットを見た時、グレーを中心に木目の床を使い、ところどころにグリーンを配していたでしょ。この感じがいいなーと思って…。窓のブラインドも工務店さんはこの感じならグレーが良いと云われたん

ですが、都心部のビル内ならともかく、主婦や子供さんなど地域の方達を対称にするのなら、やはりグリーンの和らかさが必要かと思ひまして…。院内設計においてもユニットのアーム部があのように前にも出るなんて知らなかったり…、スペースのとり方はやはり歯科専門の方に頼んだ方が良かったと思ひます。

Q：オサダのスマイリー<ノーベル>を選ん

で頂けたのは？

院長：大学も勤務医時代も総てオサダのユニットだったものですから。それでユニットと云えば皆オサダだと思ひてたんですよ(笑)。でもバイトでちょっと行ったところが他社製品で、やけに使いにくかったんです。開業にあたって友達などに相談したら、ユニットならオサダがいいよ、と云われ、やっぱりと。これ、決してお世辞じゃありませんよ(笑)。ノーベルを選んだのは、やはり女性の視点でみるのかしら。埃が入りにくそうだし、掃除も拭きやすそうで、説明を聞いてすぐ決まりました。色も、グレーってちょっとおしゃれな感じがするでしょ(笑)。

Q：女医さんは、結婚、出産、育児等の関門がひかえておりますが、その時は？



院長：同級生の中にはその時のことまで考えていた人もいましたが、私はあまり先のことを考えないんです。人生って自分の思い通りに行かないことの方が多いから(笑)。私って神経質な部分もありますが、楽観的で諦めはよい方ですから(笑)。

Q：ご自身、又スタッフの勉強は？

院長：私は年何回か開かれる大学病院での研修会や保険協会の講習会等に出席しておりますが…。勤務医時代は他の先生に聞けば良かったんですが、開業すると自分1人で総て判断しなければなりません。勤務医時代になせもっと勉強しておかなかったんだらうな、と今は少し後悔しております。でもこれも開業してからわかったことで、その頃は気づいてなかったんです(笑)。スタッフとは、これから週

何回か、いっしょに勉強して行こうね、と話し合っています。

Q：今後の方針は？

院長：今までは本や勉強会及び大学で学んだ事を基準として考えて来ましたが、やはり患者さん1人1人の価値観の違いで、こちらがびっくりするような要求もありますが、自分が良い、正しいということも患者さんにとっては良くないことがあるようで…。地域の方々的心を考えながら、計画的にキチッと患者さんにわかって頂いて納得できる治療を心がけて行きたいと思っています。

Q：最後にお友達に。

院長：皆さんお元気ですかー。ちょっと出遅れて、やっと開業しましたが、これからは良き相談相手になってください(笑)。

歯科医院の新築・改築・増築から、医院経営まで、すべてわかる。



歯科医院

定価10,300円
(本体10,000円)

開業ガイド

- 〈主な項目〉
- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトチェックリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
 - これから開業される先生方へ
 - オサダからのアドバイス他
- 〈別冊付録〉
- 設備機械、器具、材料リスト



歯科医院

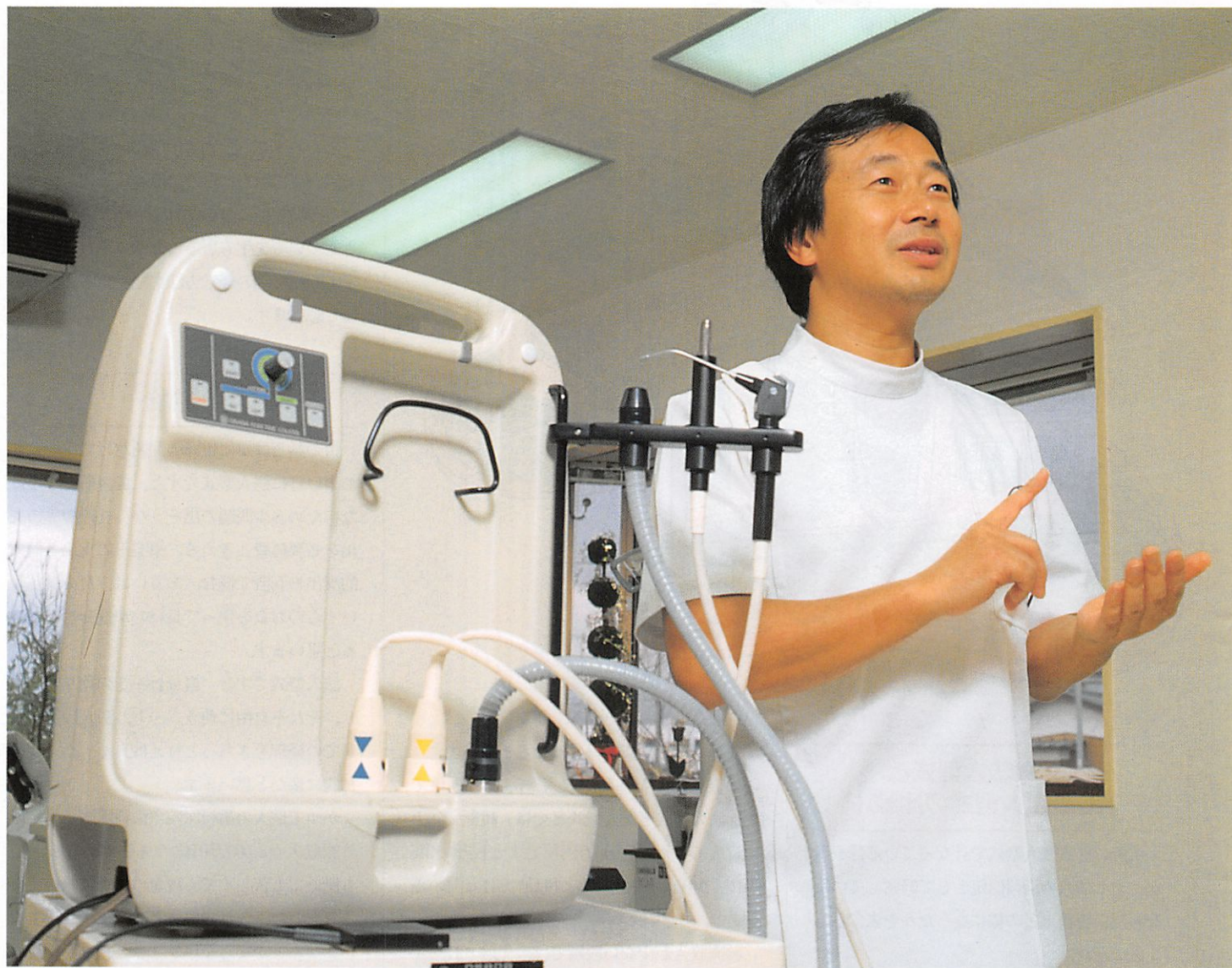
定価6,180円
(本体6,000円)

経営マニュアル

- 〈主な項目〉
- 開業準備の留意点
 - 開業準備計画書/開業収支・資金計画書
 - 歯科医の節税戦略 (青色申告)
 - 特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却
 - MS法人・医療法人
 - 財テク・税テク 他

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業株/お客様センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651代

トピックス



歯科医師として約20年。
訪問歯科診療を
4年程前から始めましたが、
今が一番充実している
と感じますね。

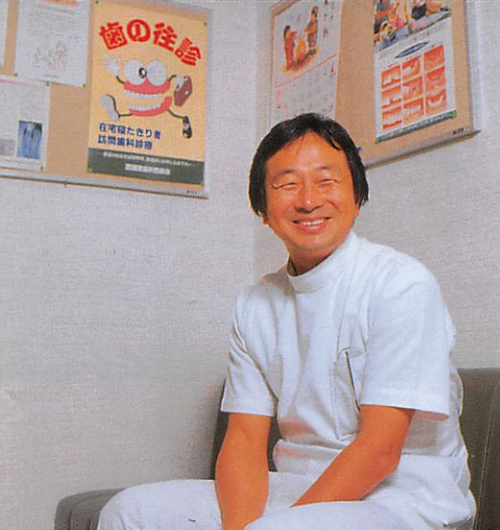
医療法人 **やかた歯科医院**
新潟県西蒲原郡黒埼町寺地2031

院長 屋形秀樹



急速に高齢化しつつある社会の中にあっ
て、近年その対処のために、各都道府県ある
いは市町村では「寝たきり老人や心身障害者」
のための歯科診療システムを開始。「受動」か
ら「能動」へ、医科と違って往診はない、と
歯科に進む時から信じていた歯科医師が、時
代の変化に即して行動を起こしたことは、国
民の心情に、歯科医師に対する認識、尊敬、
合意といった面で大きく役立っていることは
間違いないし、素晴らしい前進であると思わ
れる。

しかしこうした対策も、まだまだそうした



治療が受けられる地域に限ってであり、又施術する側も、自院を閉院してまでいくべきか？ 歯科医師がその都度変わってしまっているのだろうか？ という疑問や問題点が残ることも事実である。

ご紹介の「やかた歯科医院」は、そうした問題点を歯科医師会の活動と並行しつつ、独自の医院でも、よりきめ細かな患者ケアをしようと、ポータブルユニットを購入。行動を起こした医院である。

先生は以前にもお知らせしたが、大学卒業後、お父様が医学部の教授をされていた地元

新潟大学歯学部第一口腔外科教室で12年間教育臨床と研究をされていたという名実揃った実力派。過剰といわれる現状下にあっても朝9時から夕方7時迄、1日40名以上の患者さんを診療されていると聞く。

——在宅寝たきり老人や入院中の患者さんの歯科診療を始めようとした動機は？「近くに新潟脳外科病院、ここは150床。済生会病院、ここは350床を持つ病院なんです、その入院患者さんが、歯の治療で困っていると聞きましたものですから…。私は以前新大の口腔外科に長い間勤務していたものですから、そうした患者さんの扱いには案外慣れているんです。それではと、このポータブルユニットを購入、治療を始めました」。——来院者だけでも多数と聞いていますが、いつ行かれるんですか？「昼休みや診療終了後、あとは休日ですね。私はこの仕事が好きですから、自分の時間がなくなってもあまり苦にならないんですよ。むしろ患者さんが治って食べられる姿、喜ぶ顔を見るとたのしくなるんです」。医の本質、原点はそうであらうか…。医師として、生来持っているやさしいご性格でもあろう。——治療内容はどの辺りまで？「患者さんが希望されればほとんどの処置は出来ますよ。もちろん、治療前に患者さんの全身状態を担当の先生と話し、把握してから治療にかかりますが、患者さん側も抜歯など身体に負担がかかるようなことは自分で避けますが、ほぼ完全まで治療は出来ますよ」。そうした治療で気をつけるべき点は？「やはり今云ったように、そうした方々は、当然ですが他の病気を持っている訳ですから全身状態の把握を自分でキチッと確かめてから治療を開始すると云うことですね」。——スタッフ等は？「就業時間外ですからほとんどの場合1人で行きますが、どうしても必要な場合は手伝ってもらいます」。——経営的にみてどうです

か？「こればかりですとわかりませんが、従来の診療以外にやるのですから…。でも今は保険点数の中で計算しても損はしない。出来ますよ(笑)。又、患者さんはその後退院しても、遠方からわざわざ再来してくれますし、口込みで他の患者さんを紹介してくれたりしますから、大きくみれば決して損をすることはないんじゃないですか。歯科医師としての充実感もありますし、忙しいけれどたのしいですね」。——オサダの〈ポータブル・ユニット〉、ご使用感は？「他社で出されている製品も使った経験がありますが、やはり一番良いのは、持ち運びが便利で軽量であること。歯科医師会でも支援してくれまして、そうしたケースでは貸し出しもしてくれますが、度々ですとやはりかさばるユニットは大変で…。私のところはユニットも総てオサダですし、全部まとめて、明らかにメンテナンスが良いオサダの製品ならと、購入しました」。壁には西蒲原歯科医師会のポスター、歯の往診についてのお知らせが貼ってある。——こうした活動について、会の方も活発であられるようですね。「ええ、私も会の協力医として参加しておりますが、地域の方々から要望があれば、協力医がローテーションを組み、在宅寝たきり者はもとより、心身障害者の方々も歯科診療も積極的に行っております。又そうした診療におけるトレーニングも熱心にされておりますから、地域住民にとっては安心でしょうね」。——歯科医師になられた感想を「中学時代の同窓会で、君は歯科医師にピッタリだよ、と云われましたから…。自分ではわかりませんが、他人からそう云われるのなら、きっと合っているんだろうな、と(笑)」。最後までにこやかに丁寧、やさしい口調の歯医者さんである。

アシスタント紹介



今泉歯科医院

福岡市南区大橋2-12-13 康孝ビル2階

院長 今泉 康

副院長 今泉 栄一

山下 美和さん

笹野 泰子さん

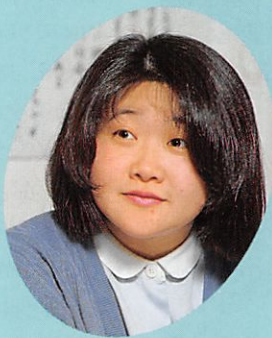
古川いづみさん

矢ヶ部尚子さん

岩坪千代美さん

安川 順子さん

高尾 恵美さん



博多駅から車でおよそ30分。当誌が創刊まもない頃、診療室拜見でご訪問したが、当時は近くの小川にメダカが泳いでいたという印象が強く残っていたが、今回再度お訪ねして驚いた。大小のビルが建ち並び、各種の商店が軒をつらね、華やかな雰囲気が溢れている。ただ、当時は50代だった院長、昨年78才を迎えられたと云われるが、頭髪は少々後退したとはいえ、まだまだ第一線のご活躍ぶり、昔と全く変わらずホッと一安心。朝も8時50分より始まる朝令から、夕方も7時まで患者治療に専念。合間をぬって若い方々の指導や訓話など、その精力的な活躍ぶりはドクター5名、技工士4名、事務1名、そしてご紹介の女性7名を率いる昨年44才になられた壮年真っ盛りのご子息栄一氏もタジタジのご様子。

お二人のお話は後程お聞きするとして、まずはこの道6年、九州歯科大学付属衛生士専門学校をご卒業の衛生士主任、山下さんをご紹介する。

——主任としての役割は「在庫管理が主な仕事ですが、その他には皆さんの要望を院長に伝えたりの仲立てですね」。要望で多いことや難

しいことは？「やはりお休みや労働条件に関することが多いです。問題が問題だけに難しいですね。ご自身の性格を分析すると(笑)。「この仕事に入ってから多少変わりましたが、マイペースで、おっとりしていて、内向的です(笑)」。ボーイフレンドは何人位？「おりませんヨ。ネ、これだけは信じてください」。ご本人がおっしゃるのでまずは信じるとして、やはり同年代の女性をまとめられるだけあって、芯のしっかりした明るいお嬢さんといった好印象を受ける。

笹野さんは高卒後1年家事手伝いをされた後当院へ。ベテランの域にそろそろ入るキャリア7年のアシスタントさん。——当院で7年、その魅力は？「やはりここは先生を含めて雰囲気が良いということですね。特に女性同士が仲が良い、これが一番ですね。それと当院は担当制といたしまして、この患者さんはこの先生とこの女性というように決まっておりますから、患者さんの治療の流れもわかりますし、長い間には心も通じ合っています。それも働く大きな魅力になっております」。ソツのないしっかりとしたご返事。やはりベテ

ランである。

古川さんもアシスタントとして既に当院で7年。医療関係の仕事が好きだったが、勉強は嫌い。助手としてなら免状を取らなくても良いからと、ちょっと変わったご返事ながら正直で気持ちいい。可愛い笑顔が印象的だ。——当院で7年、その魅力は？「やはり“やりがい”ですね。担当制ですから、先生に云えないことも患者さんは色々と話してくれますし、それが私達にとっても良い勉強になります。それが長く続いた原因でしょうね」。矢ヶ部さんも当院で6年。久留米歯科衛生士専門学校を卒業された健康そうなお嬢さん。当院に入られた動機と今の心境は？「やりがいのある良い医院があるからと学校の薦めで入りましたが、あっという間に6年過ぎてしまいました。近頃やっと衛生士という仕事に“やりがい”を感じ始めました。歯周病などの原因となる歯石を取り、患者さんといっしょになって勉強しながら歯の病気を治していく。それがたのしいですね。朝は8時50分から朝礼が始まりますが、その前に自分の分担の仕事を整え、9時からの開院に備えま



アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。

す。夕方も7時半に終り、真っすぐに帰っても9時過ぎになります」と云われるが、6年余り当院一筋。それだけ魅力ある医院と云えるであろう。

岩坪さんも歯科助手専門学校を卒業し、既に当院で8年というベテラン。——普段気をつけていることは「やはり歯科医院は怖い、冷たいというイメージがありますので、私達も皆さんと同じですよ、というお互いのふれ合い、コミュニケーションに気を使っております」。「院長先生は私達にとって父親みたいな存在で、厳しいけれどやさしい、という感じです。先生とも患者さんとも…。良いところで働けて良かったと思っております。

安川さんは受付を担当。養護教諭専門学校を卒業し、つなぎのつもりでここに来たが働きやすくもう3年を過ぎてしまいました、とニコリ。「当院は予約制ではありませんから

常に12~13人は待っており、その方達の気持ちを考えると…。言葉使いや応対には気を使っております。子供が大好き、といわれるだけあって、ふっくらとした顔とやさしい目が印象的だ。

高尾さんはトリマー（犬の美容師）から歯科医院の受付に移ったといわれるチョット変わったご経歴。「今までは犬が相手でしたから、最初は戸惑いましたが、先輩の安川さんに教わりながら少しずつ。特に人間関係の大切さ、それと当然ですが歯について学びました。でもとにかく犬が大好きですから、どれ位続けられるか？お給料はトリマー見習に比べるとずっと良いのですが…。その辺が悩みです(笑)」。やさしそうに見えるが、ご本人に云わせると「全然違います(笑)」とのことである。

〈院長から一言〉

今泉 康



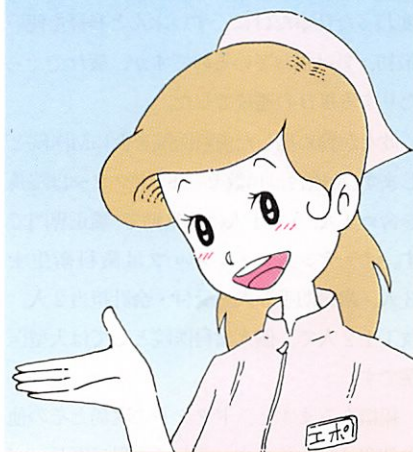
当院は担当制というちょっと変わったシステムを採っておりますが、これがスタッフにも患者さんにも良くいっているようです。抜歯後などでも自ら患者さんの自宅に電話したり、年賀状なども「旧年中はあまりお世話出来なかったが、今年はお互いに頑張りましょう」などと全員がかなりの枚数を書いているようです。給料も格別多くはないし、時間も長いけれど、皆さん一生懸命やってくれまして、私は幸せですね、と院長。

〈副院長から一言〉

今泉 栄一



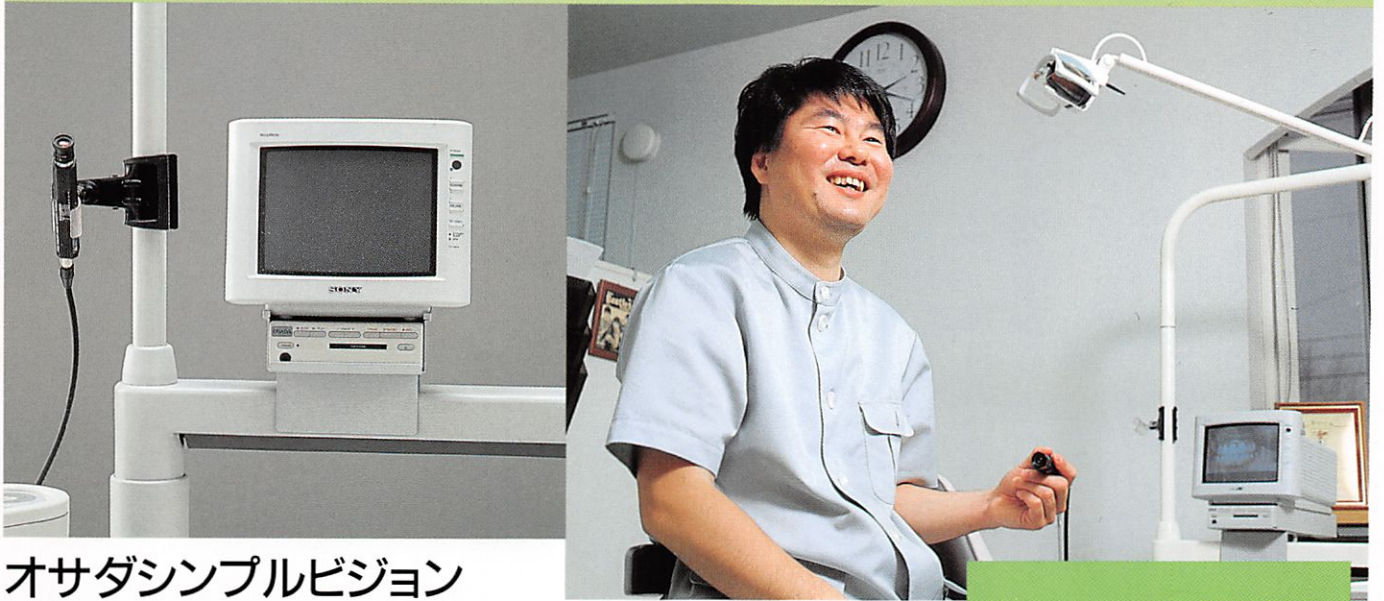
当院の女性の仕事に対する姿勢はドクター以上ですね(笑)。風邪などひいて、休めと云われても出て来るんです。親があきれていますよ(笑)。女性がこれだけいますとどうしてもグループが出来、固まるものなんです。が、全員仲が良く、私には不思議でわからないんですよ(笑)。でもその分ツケツケ云われますがね(笑)。職場の雰囲気も良く、患者さんとの信頼関係も良くいっておりますしスタッフには恵まれている、と思っております、と副院長。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株／お客様センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)

診療室訪問シリーズ



オサダシンプルビジョン

製造許可番号第122号

たいせつ歯科医院

旭川市東五条2-2-17

院長 吉田貴宏

(日本大学歯学部卒・36才)



診療内容の説明はむろんのこと、
ビデオを撮ることによって多方面に利用出来る
《シンプル・ビジョン》。操作も簡単で、
入れて良かったと思っています。

旭川駅から車で約10分。静かな住宅地に建つ「たいせつ歯科医院」。「たいせつ」と云う医院名は、日本一広い大雪山国立公園から名付けられたという。院長もその名の通り、若い、ゆったりと大らか、包容力を感じさせる方である。

広々とした診療室内を個室形式で3つに区切り、中にはフル装備されたスマイリー・フェイスを中心、患者のカルテボックスや治療説明用のホワイトボード、消毒器、又、チェアサイドで出来るダスト吸引器付技工台まで総て設置。無駄な動きを一切必要としない完全セパレート型診療室に仕上げている。その他院内感染を防ぐため、トレーやエプロン・コップ等血液・唾液が付着するものは総て使い捨てという、スタッフはむろんのこと患者心理まで充分考えられた理想的な医院を作られている。「都内で研修させて頂いた先生が、保険診療を一切されなかった方でしたので、その良い点を総て揃えました。やさしい印象の院長を囲み、明るくハキハキとしたスタッフの皆さん。おそらく患者さんにも好印象の歯科医院であらう。

◆ ファイン・ユニットのアーム上に設置されたオサダの《シンプル・ビジョン》。
「いままではホワイトボードに絵を描き治療の説明をして来ましたが、この一台でプラークコントロールの説明はもとより、治療前・後の写真、テクニシャンと義歯などについてのディスカッション、スタッフの教育その他多方面に利用出来ます。操作も簡単で、入れて良かったと思っています。」



診療室訪問シリーズ

西山歯科医院

東京都港区南麻布4-13-2
麻布高橋ビル2F

院長 西山晴彦

(城西歯科大学「現明海大学歯学部」卒・31才)



スマイルファイン
SMILEY Fine L型

製造承認番号01B第0296号

使うものですから、本当に良いものを
毎日の仕事で、長い将来
購入することが大切。

スマイリーへファイン。
調子いいですよー(笑)。

緑が。都心とは思えぬ静けさ、院内環境である。

院長は卒業後、慈恵医大で2年間研修された後、世田谷の開業医
と同じく2年勤務医生活を。その後院長が亡くなられた診療所をお
かりして先述の白金の医院で開業を2年間経験。此の度移転、再

明治通りと外苑西通りの交差点を六本木方面から来て左に折れた
バス停天現寺橋。その真ん前に建つシルバーグレーのテナントビル
2階に昨年9月、白金から移転開業された西山歯科医院。
待合室を横に長い廊下状にし、ほぼ中心に受付。入口ドアの右・
道路側を医局室、左奥
面を診療室にあてられ
ている。設置されたス
マイリーへファイン
からは河を挟んで慶応
幼稚舎の建物と木々の

開業にふみ切られたという若さ溢れる青年医師である。

「家は祖父(東歯大卒)、父(日大歯学部卒)、兄(岐阜歯科大卒・現
朝日大学歯学部)と私、皆違った大学を出ているという、ちょっと変
わった一家ですが、それぞれの良いところを採り入れ、お互いに面
白いし勉強にもなりますよ」。現在お父様と共にお兄様が大森・山王
でご開業中と云われる歯科一筋のご一家である。「この辺りは都心
で、冷たい霧開きを想像しがちですが、全く逆。開業に先立ち相談
のつてくれたり、祝ってくれたり…。下町的な暖かさが残って
いて、大森・山王育ちの私にはうれしい環境ですね」。

スマイリーへファインは、売り出されたらすぐ父が飛びついて
(笑)。これは良いと私もすぐ決めました。毎日の仕事で、しかも長
い将来使うものですから、納得のいったメーカーから使い易いユニ
ットを買うことが大切だと思います。アフターケアもいいですよ調
子は良いですよー(笑)。